大学名·所在地等

大学名	多摩大学	設置形態	(私立)·国立·公立
	〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4丁目1番地1 多摩キャンパス	多摩キャンパス	
オペンペキャ	〒252-0805 神奈川県藤沢市円行802番地 湘南キャンパス	キャンパス	
の所在地	〒108-0075 東京都港区港南2-14-14 品川インターシティフロント5階	ターシティフロント5/4	皆 品川サテライト

					_
理事長名		田村 邦彦	学長名	寺島 実郎	
	経営情報学部長	久恒 啓一	グローバルスタ ディーズ学部長	将本 正一郎	
学部長名					
	経営情報学研究科長	橋本 忠夫			
研究科長名					
大学 事務局長名	宮地 隆夫				

設置形態は該当箇所に○印をつけること。 複数のキャンパスを有する場合は、すべてのキャンパスの所在地を記載すること。 学部長、研究科長はすべての学部、研究科において記載すること。 大学事務局長の欄には、大学事務局長又は相当者を記載すること。

 $[\]Theta$ Θ Θ Θ

表**F**-2

設置学部・学科・大学院研究科等

名 称	設置認可年月日	開設年月日	所在地	備考
経営情報学部,経営情報学科	昭和63年12月22日	平成元年4月1日	昭和63年12月22日 平成元年4月1日 東京都多摩市聖ヶ丘4丁目1番地1 多摩キャンパス	
経営情報学部・マネジメントデザイン学科	平成17年7月29日	平成18年4月1日	平成17年7月29日 平成18年4月1日 東京都多摩市聖ヶ丘4丁目1番地1 多摩キャンパス	
グローバルスタディーズ学部・グローバルスタディーズ学科 平成18年11月30日 平成19年4月1日 神奈川県藤沢市円行802番地 湘南キャンパス	平成18年11月30日	平成19年4月1日	神奈川県藤沢市円行802番地 湘南キャンパス	
経営情報学研究科·経営情報学専攻(修士課程)	平成5年3月19日	平成5年4月1日	平成5年3月19日 平成5年4月1日 東京都多摩市聖ヶ丘4丁目1番地1 多摩キャンパス	
経営情報学研究科·経営情報学専攻(博士課程)	平成7年3月16日	平成7年4月1日	平成7年3月16日 平成7年4月1日 東京都多摩市聖ヶ丘4丁目1番地1 多摩キャンパス	

研究所等ごとに記載すること。 大学院研究科・専攻、

当該研究科もしくは専攻が、専門職大学院である場合は、備考欄にその旨を記載すること。

ە زىد 学部にならって記載するに、 教養教育科目・外国語科目・保健体育科目・教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、 その場合は、「設置認可年月日」欄は斜線を引くこと。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc

通信教育課程、

竹育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載すること。 学科、研究科等が、改組または名称変更等をしている場合は、備考にその時期と名称等を記載し、変遷がわかるようにすること。 学科、研究科等が、届出のみで認可を受けた場合の「設置認可年月日」は、届出年月日を記載し、その旨を備考に記載すること。 学科、研究科等が、募集を停止している場合や完成年度に達していない場合は、その旨を備考に記載すること。 文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程(修士・博士)がある場合は、下表に記載すること。 小部、

学部、学部、 4000000

開設予定の学部・学科・大学院研究科等

名称	開設予定年月日	所 在 地	備考
該当なし			

表**F-3** 学部構成 (大学・大学院) 【学部】

経営情報学部	グローバルスタディーズ学部	
経営情報学科	グローバルスタディーズ学科	
マネジメントデザイン学科		
[大学院]		
経営情報学研究科		
経営情報学専攻(修士課程)		
経営情報学専攻(博士課程)		

学部・学科の学生定員及び在籍学生数

高						
男:女	9:1	7:3	8:2	5:5	2:2	7:3
留年者数 (内数)	20	90	65	26	26	65
学生数	129	143	272	151	151	423
留年者数 (内数)	¥0	C C	92	•	-	95
	182	210	392	122	122	514
留年者数 (内数)	00	00	89	-		89
	248	158	406	162	162	568
留年者数 (内数)	J	0	9	1	-	9
学生数	901	100	381	153	153	534
	1 19	1.19	1.13	0.98	0.98	1.09
生数 (内数)	-	•	-	1	-	-
(p)	1 481	1,401	1,451	588	588	2,039
(a)	800	480	1,280	009	009	1,880
定員	-	•	-	1	-	-
	200	120	320	150	150	470
<u></u>	圣営情報学科	マネジメント デザイン学科	学部計	グローバル スタディーズ学科	イーズ学部計	111111111
			経営情報	グローバル スタディーズ学部	ューバルスタデ	◁□
		子 朴 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 (a) (b) (h数) 学生数 留年者数 学生数 留年者数 学生数 日本書数 学生数 日本書数 日本書本 日本書数 日本書数 日本書数 日本書数 日本書数 日本書数 日本書数 日本書数 日本書数 日本書本 日本書数 日本書本 日本書本書数 日本書本 日本書本 <th< td=""><td>子 朴 定 員 定 員 定 員 定 員 (a) (b) 生数 留年者数 学生数 留年者数 学生数 日本書数 学生数 日本書数 学生数 日本書数 学生数 日本書数 日本書本表数 日本書本数 日本書本表数 日本書本</td><td>子 市定 員定 員定 員定 員定 員定 員(a)(b)(c)(</td><td>子 朴 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 企 場 一次 一次</td><td>子 朴 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 企 員 (本数 (内数) 学生数 (内数) 第:方 東京小小学科 150 150 150 150 150 160 1</td></th<>	子 朴 定 員 定 員 定 員 定 員 (a) (b) 生数 留年者数 学生数 留年者数 学生数 日本書数 学生数 日本書数 学生数 日本書数 学生数 日本書数 日本書本表数 日本書本数 日本書本表数 日本書本	子 市定 員定 員定 員定 員定 員定 員(a)(b)(c)(子 朴 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 企 場 一次 一次	子 朴 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 定 員 企 員 (本数 (内数) 学生数 (内数) 第:方 東京小小学科 150 150 150 150 150 160 1

昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記載すること。 昼夜開講制をとっている学部については、 Θ 獣医に関する学部・学科は6年間)の入学定員、臨時的定員、編入学定員を確認の上、収容定員を計算すること。 4年間(医、歯、 (3) 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入学定員に変更があった場合、また行っている場合には、入学定員及び編入学定員の欄には変更後の数を記入し、収容定 員の欄には学則に記載してある収容定員(現在の入学定員×4年間又は6年間+編入学定員)を記載するとともに括弧書きで1年から4年または6年までの入学定員 を足した実際の定員の数を記載し、「備考」にその旨を記載すること。新設学部、学科の記載も同様です。 \odot

学部、学科の改組等により、新旧の学部、学科が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載すること。

年度により定員が変動している場合は、備考欄にその理由を記載すること。

4

6年次まで作成すること。 医、歯、薬、獣医学部(あるいは獣医(関係)学科をもつ学部)の場合には、

編入学定員を設定している場合は、備考欄にその受入れ年次を記載すること。

留年者には、休学や留学によって進級が遅れた者は含めないこと(進級要件を設定していない大学で、2年次に留学もしくは休学した学生が、4年で卒業できず、 留年となった場合は2年次、4年次のいずれの留年者数にも含めないこと) $\bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc$

「b/a」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示すること。

通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成するこ

男女比率については、全体を10として、整数で表示すること。

大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

男女比率 男:女 d/b 0.07 0.07 0.07 0.88 c/a0.88 0.88 2 2 $^{\circ}$ 計(d) 社会人 留学生 0 0 0 博士課程 2 \overline{c} $\overline{2}$ 0 0 0 | 張 在籍学生数 ≣+(c) 105 105 105 社会人 留学生 $^{\circ}$ 2 2 修士課程 103 103 103 0 0 0 30 30 30 課本 (b) 収容定員 120 120 120 (a) 10 10 10 课 課 程 程 入学定員 60 60 9 像 開 程 経営情報専攻 攻 経営情報研究科計 中 ďП 経営情報研究科 京 究 舟

備考

 \sim

.. ∞

 $^{\circ}$

 ∞

 $^{\circ}$

 ∞

博士課程を前期と後期に区分している場合は、前期課程は修士課程の欄に後期課程は博士課程の欄に記載すること。また、5年一貫 制及び4年一貫制(医・歯学部、獣医学系あるいは獣医(関係)学科をもつ学部)の博士課程は博士課程の欄に記載すること。 Θ

専門職学位課程は、備考欄に(専門職)と記載し、付与する学位の種類に対応する欄に記載すること。

[c/a]及び「d/b]欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示すること。 「一般、社会人、留学生」欄について、社会人は社会人枠の入試形態による、留学生は留学どザがある学生、それ以外は一般とみなす。 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc

男女比率については、全体を10として、整数で表示すること。

備考 0 华 0 0 0 0 その街 $TA \cdot RA$ 等 $\mathbf{R}\mathbf{A}$ $_{
m IA}$ 61.5%61.5%62.9% 62.9%非常勤 依存率(%) c a+c *100 56 56 39 39 92 兼 (非消數) 教員数 (c) 13 11 兼担 教員教 (b) 25.6 専任教員 1人当た りの在籍 学生数 41.5625.6設置基準上 必要専任 教授教 6 11 29 設置基準上 必要専任 教員数 10 22 14 2157 14 0 0 0 0 0 0 助手 19 16 23 22 35 23 計(a) 0 0 0 0 助教 専任教員数 9 0 9 排部 6 6 11 20 准教授 12 12 24 教授 グローバルスタディーズ学科 マネジメントアサイン学科 経営情報学科 グローバルスタディーズ学部計 大学全体の収容定員に応じ 定める専任教員数 **表F-6** 全学の教員組織(学部等) 経営情報学部計 学部・学科、その他の組織 抽 グローバルスタディーズ学部 経営情報学部

* 次ページもり

全学の教員組織 (大学院等) 表F-6

華水								
	神		•			•	•	•
2.4等	その他	•	•	•		•		•
TA・RA等	RA		•					•
	TA		•					•
兼 (非常) 数員数 (。)	(9)	38	38	•	,	•	•	38
奏 素 (b)		16	16	,		1		17
研究指導補 助教員数		16	16					17
研究指導教員数		∞	o o	/	/	/		80
研究指導教 員数及び研 究指導補助 教員数	华	24	24					25
設置基準上心要研究指導教員数反び研究指導を研究指導を開発を対した。	1000000000000000000000000000000000000	6	6			/		6
設置基準上必要研究指導教員教	`	1Q	ō			/		2
最		1						
	∯⊬(a)	20	20	1	2	6	•	10
	助教	,		,	,	•	٠	•
専任教員数	吳離	1	1	1	1	1		
INT	准教授	1	1	1	1	1		
	教授	ю	10	1	63	33		10
所等		経営情報学専攻	学研究科計					+
研究科・専攻、研究所等		経営情報学研究科	経営情報学研究科計	総合研究所	統合リスクマネジメ ント研究所	情報社会学研究所	知識リーダーシップ 総合研究所	∢□

教員については、学部・大学院研究科・研究所等、所属組織ごとに大学の発令に基づき記載すること。

専任教員とは、常勤する者をいい、兼任教員とは、学外からの兼務者をいう。また、兼任教員は、同一法人内の短大、専門学校等の教員も含む。

現在の在籍学生に関する入学定員及び編入学定員に変更があった場合、また、行っている場合には、学則に記載してある収容定員(現在の入学定員×4年間または6年間+編入学定員)に基づき、 設置基準上必要教員数を算出するとともに括弧書きで1年から4年または6年までの入学定員を足した実際の定員数により算出された教員数を記載すること。 **⊕** (0) (0) (C) $\Theta \otimes \Theta$

『設置基準上必要専任教員数」欄の記載方法は大学設置基準第13条、別表第1、別表第2に基づき記載すること。

数養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等学部に関連する独立の組織がある場合には、「(その他の組織)」欄に、その名称を記載すること。

大学院大学の場合は、設置する研究科・専攻について、「全学の教員組織(学部等)」の記載欄に準じて記載すること。

専門職大学院を有する場合は、「全学の教員組織(学部等)」の記載欄に準じて、新たに表を作成すること。また、専門職大学院の専任教員が他の学部等で専任扱いになっている場合は、 専任教員として両方ともカウントし、その旨を欄外に記載すること。

名称変更している学科や統合した学科については、新田の2つの学科をあわせて専任教員数を記載し、その旨を備考欄に記載すること。

1人の兼担教員が複数の学部を担当する場合は、本務以外の学部の兼担教員欄にそれぞれカウントすること(重複可)。もしくは、大学の実状によっては、学部に関わる兼担教員数の欄は、学科 1人の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれカウントすること(重複可)。 もしくは、大学の実状によっては、兼任教員数の欄は学科ごとではなく学部全体で記載してもよい。 ごとではなく学部全体で記載してもよい。 **∞ ⊚ ⊜**

学部の教員が研究科の教員を兼ねている場合、兼担とみなす。

履修者がいない科目を担当している教員、及び修士の論文指導だけを担当している教員についても専任教員としてカウントすること。

専任教員に渡航者がいる場合は、渡航者を含んだ教員教を記述し、渡航者の状況については、備考欄に記載すること。

「設置基準上必要研究指導教員数」及び「設置基準上必要研究指導教員数と研究指導補助教員数合計」欄の記載方法は「大学院設置基準第9条の規定に基づく大学院に専攻ごとに置くものとする TA(Teaching Assistant) 、RA(Research Assistant)がいる場合は、それぞれ担当している学科、研究科の欄に人数を記載すること。

教員の数」(平成11年9月14日文部省告示第175号)に基づき記載すること。

表2-1 学部、学科別の志願者数、合格者数、入学者数の推移(過去5年間)

[学部]

	入試の種類		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
		募集定員	110	110	110	110	110
	4年12時一	志願者	323	342	303	589	443
	イボノノメデ	合格者	232	179	178	291	323
		入学者	124	92	77	82	116
		募集定員	09	20	20	20	20
	4 1 14/14	志願者	307	337	302	406	320
	イルノー・ハコ	合格者	588	233	256	228	270
		入学者	83	22	74	35	33
		募集定員	40	09	09	09	09
	\$ C V	志願者	131	183	184	185	126
效	ACくM	合格者	122	171	175	181	126
1 10		入学者	211	162	159	166	123
I #		募集定員	40	40	35	35	35
	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	志願者	18	<i>L</i>	14	2	6
¥ 1	四 角 1×1年/局	合格者	18	<i>L</i>	14	, 	6
ት ቹ		入学者	18	2	14		9
<u></u>		募集定員	99	20	09	09	09
1—	お少な審	志願者	99	99	58	99	87
	1日人(1人)正/河	合格者	99	92	57	99	87
		入学者	99	92	22	64	98
		募集定員	22	10	2	2	5
	八曹雅爾九對	志願者	\mathbf{c}	3	4	2	8
	1年1年11年11日	合格者	2	2	4	5	7
		入学者	2	2	4	2	9
	その 体	募集定員	0	0	0	0	0
	(社会 / ・ 図歩年・	志願者	0	0	0	0	7
	(正女人 エナユ 温田仕往祭を今ま)	合格者	0	0	0	0	7
	毎日11年44日57	入学者	0	0	0	0	5
		募集定員	320	320	320	320	320
多小学	发	志願者	840	928	865	1253	1000
H H		合格者	725	648	684	772	829
		入学者	401	358	385	353	375

	入試の種類		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
		募集定員	09	09	20	55	55
	4 C 1/9 1	志願者	160	160	120	332	268
	イルノーメビ	合格者	123	107	107	218	154
		入学者	28	22	26	89	38
		募集定員	15	15	20	23	23
	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	志願者	132	130	96	182	213
Ĩ	イン・ハン	合格者	130	63	81	132	170
\ \ !		入学者	29	11	26	29	29
<u> </u>		募集定員	29	29	31	31	33
- *	4 C V	志願者	53	49	31	49	55
~	AOA所	合格者	20	37	28	42	44
ź		入学者	47	32	24	36	40
К		募集定員	13	13	11	11	10
X	好阿芬茶	志願者	9	2	9	3	1
ĬĻ	門 周仪 拒炀	合格者	9	2	9	3	1
~		入学者	2	1	9	3	1
		募集定員	20	20	25	25	25
K	お か な お 押	志願者	33	21	10	30	98
伙	1月 亿 [太] 起病	合格者	33	21	10	30	98
· 草		入学者	33	21	10	28	33
≘ 1 111		募集定員	2	2	2	2	4
<u> </u>	八世祐輔工学	志願者	4	5	3	1	2
	1年11年11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11	合格者	4	4	3	1	2
		入学者	4	4	3	1	5
	メ ら州	募集定員	8	8	8	0	0
	・ 子作及・ 『 今代)	志願者	4	0	1	9	1
	(エガス・ 甲十月・) 専団仕年年からから	合格者	4	0	1	2	0
	年国士を中谷 ロウ/	入学者	4	0		4	0
		募集定員	150	150	150	150	150
TA 7.11 "A - 11.7 A - 1	// " " - 1, " 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	志願者	392	367	267	603	579
		合格者	350	234	236	431	410
		入学者	180	1961	199	169	118

平成23年度 平成24年度	165 165	921 71	509 475	150 154	73 73	588 533		64 62	91 93	234 181		202 163	46	5	4	4	85 85	1	96 123	92 119	10	6 13	6 12	6	0	9	D	4	470	0111
平成22年度	160	423	282	136	02	398	337	100	91	215	203	183	46	20	20	20	85	89	<i>L</i> 9	<i>L</i> 9	10	7	7	7	8	Π	-	-	470	0011
平成21年度	170	502	286	133	65	467	296	89	68	232	208	194	53	6	6	9	10	77	22	LL	15	8	9	9	8	0	0	0	470	1001
半成20年度	170	483	358	182	65	439	419	112	69	184	172	162	53	24	24	23	75	88	68	68	30	6	6	6	8	4	4	4	470	1999
	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	7年 241 十
入試の種類		4 L 1/4	イロノメデ			4 19/4	足くしゃくコ			4 F O V	るくOA			好區於朱麗	門馬次振馬			か か が お 編	1日尺 (人1年/局			公世先期工学	ム券1年帰入野		<i>∀</i> ∈ <i>₩</i>	この問題を持つのは、	(江ガ人・田ナゴ・国田子・田田子)	年国 土木 中の口の		
												4	作上	₽ ₹	命〈	[Π <u>1</u> 1	1—													

表2-2 学部、学科別の在籍者数(過去5年間)

(10月1日現在)	帰国 生徒数	(内数/人)				0	0
镇 (10月1	社会人 入学 学生数	(丫/茶)				3	3
:度 秋学期	留学生数	(内数/人)				6	3
平成21年度	在籍者数	(Y)				372	372
	帰国 生徒数	(内数/人)	0	0	0	0	0
度 春学期	社会人 入学 学生数	(内数/人)	0	0	0	3	3
平成21年度	留学生数	(内数/人)	0	0	0	3	3
	在籍者数	(Y)	926	494	1420	376	376
日現在)	帰国 生徒数	(内数/人)				0	0
平成20度 秋学期(10月1日現在)	社会人 入学 学生数	(内数/人)				4	4
吏 秋学期	留学生数	(内数/人)				3(†1)	3(↑1)
平成20/	在籍者数	(Y)				262	262
	帰国 生徒数	(内数/人)				0	0
美 春学期	社会人 入学 学生数	(丫/茶口)				4	4
平成20年度	留学生数	(丫/藻曱)				2	2
	在籍者数	(Y)				264	264
	本		経営情報 学科	レネジメン トゲザイン 将萃	学部合計	クローバル スターディ メ ※報	メーディズ学 計
	学			E 宣信報学部 トデザイン 学科	経営情報学部合計	スターバイメダーバイ	プローバルスターディズ学 部合計

	0	0	0
	0	3	3
	0	3	3
	1420	376	1796
【学部合計】	経営情報学部合計	グローバルスターディズ 学部合計	総合計

	舗考						
	帰国 生徒数	(内数/人)				2	21
5 春学期	社会人 人等人 华任教	(内数/人)				1	1
平成24年度	留学生数	(内数/人)				9	9
I/I	在籍者数	(Y)				588	588
1日現在)	帰国 生徒数	(内数/人)				2 2(↑1)	2(†1)
平成23年度 秋学期(10月1日現在	社会人 入学 学生数	(人) (内数/人					2
年度 秋学	留学生数	(内数/人				7 7(↓1)	7 (1)
平成23	在籍者数	(Y)	0			587	182
HA HA	帰国生徒数	(内数/人)	0	0		1
度 春学期	在 全人 学 本 秦 秦	(内数/人)	0	0	0	2	2
平成23年度	留学生数	(内数/人)	2	23	4	8	8
	在籍者数	(Y)	817	649	1466	009	009
(10月1日現在)	帰居生徒数	()/ () () () ()				1	1
期(10月	社 会 人 学 本 学 教 教	(内数/人)				3(↓1)	3(1)
平成22年度 秋学期	留学生数	(内数/人)				4	4
平成22年	在籍者数	(Y)				492	492
H H	帰国生徒数	(内数/人)	0	0	0	0	0
要 春学期	社 人 学 本 森 森 森	(内数/人)	0	0	0	4	4
平成22年度	留学生数	(内黎/丫)	0	0	0	4	4
	在籍者数	(Y)	893	565	1458	495	495
	茶		経営情報 学科	クネジメン トゾキイン 小暦	学部合計	グローバル スターディ ズ 学科	オーディズ学 計
	护			経営情報学部 マネジメン トゲザイン 学科	経営情報学部合計	グローバル スターディ ズ	グローバルスターディズ学 部合計

	[学部合計]												
	経営情報学部合計	1458	0	0	0			1466	4	0	0		
	グローバルスターディズ 学部合計		4	4	0			009	∞	23	1		
1	総合計	1953	4	4	O			9066	19	6	1		

秋学期入学の場合は、別に記入欄を設けて記載すること。 社会人及び帰国生徒は入試形態による、留学生は留学ビザがある学生をいう。科目等履修生、聴講生は含めないこと。 Θ

表2-4 学部、学科別の退学者数の推移(過去3年間)

沙拉	氷		 	平成21年度	庚			計	平成22年度	⋣ ⊀			壮	平成23年度	承	
千司》	于个十	1年次	年次 2年次	3年次	4年次	슈큐	1年次	2年次	3年次	4年次	슈計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
	経営情報学科	20	8	1	6	38	14	22	2	15	53	19	26	15	8	89
経営情報学部	マネジメントデザイン学科	10	1	0	0	11	9	4	1	1	12	10	œ	4	21	24
経営情報学部計	(学部計	30	6	1	6	49	20	26	3	16	65	29	34	19	10	92
グローバル スターディズ学部	グローバル スターディズ学科	9	L	8	0	16	2	2	7	70	16	12	2	2	3	22
グルーバルスタディーズ学部計	ディーズ学部計	9	7	3	0	16	21	2	7	5	16	12	5	2	က	22
∢□	+1111111	98	16	4	6	65	22	28	10	21	81	41	39	21	13	114

表2-5

授業科目の概要

			群	区分	授業科目の名称	配当年次		単位数			専任教	員の配置	İ	備考
			чт	12.73			必修	選択	自由		_	講師	助教	Vm·· J
					ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス)	1 • 2 • 3 • 4	2			0	0			
					ビジネス数学基礎	1 • 2 • 3 • 4	1				0			
					ビジネス入門	1 • 2 • 3 • 4	2			0				
					経営情報論I	2 • 3 • 4	2			0				
					経営情報論Ⅱ	2 • 3 • 4	2			0				0044 75 88 5# 11 18
					問題解決学総論(入門) 特別講座 I	2 • 3 • 4	2			0	0			2011年開講せず
					特別講座Ⅱ	2 • 3 • 4	2			0	0			
					マネジメントデザイン論I(図解表現)	2 • 3 • 4		2		0				
					マネジメントデザイン論 II (立志論IV:立志人物論)	2 • 3 • 4		2		0				
				A区分	多摩学入門 I (歴史)	1 • 2 • 3 • 4	2			0				
					立志論Ⅰ(スポーツマンシップ立国論)	1 • 2 • 3 • 4	2			0	0			
				(立志・グ	多摩学入門Ⅱ(社会経済) 立志論Ⅱ(立志事業家論)	1 • 2 • 3 • 4	2				0			
				ローカル)	世界潮流入門	1 • 2 • 3 • 4	2			0				
			444		立志論Ⅲ(立志起業家論)	1 • 2 • 3 • 4	2				0			
			基本	B区分	経営基礎Ⅰ	1 • 2 • 3 • 4	2			0				
			科		産業社会論入門 I (経済)	1 • 2 • 3 • 4	2			0	0			
			目		マーケティング入門	1 • 2 • 3 • 4	2			0	0			
				(ビジネ ス・情報・	リサーチ入門 経営基礎Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4	2			0	0			
				会計)	産業社会論入門 II (会計)	1 • 2 • 3 • 4	4				0			
					情報サービスⅡ(シミュレーション)	1 • 2 • 3 • 4	2				0			
					戦略入門	1 • 2 • 3 • 4	2				Ö			
				C区分	文章伝達入門	1 • 2 • 3 • 4	2			0				
					日本語表現法Ⅰ	2 • 3 • 4	2			0				
				現)	日本語表現法Ⅱ English Expression I	2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2	-		0	0			
				D区分	韓国語 I	1 • 2 • 3 • 4	2			0	0			
					中国語I	1 • 2 • 3 • 4	2				0			
					プログラミング言語入門 I	1 • 2 • 3 • 4	2			0				
				(言語)	English Expression II	1 • 2 • 3 • 4	2			0	0			
授	経	経			韓国語Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4	2				0			
授業科	営	営			中国語Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4	2				_			
目	情報	情報			プログラミング言語入門Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4	2			0				
の概	学	学			社会学	1 • 2 • 3 • 4		2						2011年開講せす
要	部	科			情報探索法	1 • 2 • 3 • 4		2						
					スポーツI	1 • 2 • 3 • 4		2			0			
					特別語学研修I	1 • 2 • 3 • 4		2		0				
					法学 (憲法)	1 • 2 • 3 • 4		2						
					キャリアデザイン I	1 • 2 • 3 • 4		2			0			
					コンピュータ概論	1 • 2 • 3 • 4		2		0				
					自然科学概論 I	1 • 2 • 3 • 4		2						2011年開講せす
					自然科学概論Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2		_				
					社会科学入門	1 • 2 • 3 • 4		2		0				
					情報探索法	1 • 2 • 3 • 4		2						
					数字力で語る ビジネスイノベーション	1 • 2 • 3 • 4		2		0				
					マルチメディア実践	1 • 2 • 3 • 4		2		0				
					マルテクティ / 夫政 ミクロ経済学	1 • 2 • 3 • 4		2		0	0			
					Vebデザイン	2 • 3 • 4		2			0			
			基礎		経営情報数学Ⅰ	2 • 3 • 4		2		0				
			科		スポーツⅡ	2 • 3 • 4		2		0	0			
			目		地球温暖化を考えるⅠ	2 • 3 • 4		2		_	-			
					統計	2 • 3 • 4		2		0				
					特別語学研修II	2 • 3 • 4		2		0				
					ビジネススキル基礎Ⅰ	2 • 3 • 4		2						
					ビジネススキル基礎II	2 • 3 • 4		2						
					マクロ経済学	2 • 3 • 4		2		0				
					歴史と文化	2 • 3 • 4		2		0				
					情報概論	2 • 3 • 4		2		0				
					インターンシップ	3		2			0			
					近現代史	2 • 3 • 4		2		0				
					経営情報数学II	2 • 3 • 4		2		0				
					現代の産業と企業	2 • 3 • 4		2						
					社会心理	2 • 3 • 4		2						
					スポーツと健康	2 • 3 • 4		2						
					地球温暖化を考えるⅡ	2 • 3 • 4		2						ļ
	ı	1			キャリアデザインⅡ	3 • 4		2			0			Ì

	1				1.0.0.4	0	1			, 1		1	1
				地域社会とビジネス	1 • 2 • 3 • 4	2			0				
				地域活性化戦略論	1 • 2 • 3 • 4	2			0)			
				ITマネジメント I	2 • 3 • 4	2							
				財務会計 I 情報社会論	2 • 3 • 4	2		0					
				情報ネットワーク概論I	2 • 3 • 4	2		0					
					+			0	0	,			
				初級簿記	2 • 3 • 4	2)		1	
				プログラミング言語	2 • 3 • 4	2		0					
				マーケティングデータ分析 I	2 • 3 • 4	2			0)		ļ	
				ITマネジメントⅡ	2 • 3 • 4	2						ļ	
				金融論	2 • 3 • 4	2			0)			
				原価分析	2 • 3 • 4	2		0					
				国際経済	2 • 3 • 4	2			0)			
				コンピュータサイエンス	2 • 3 • 4	2		0					
				財務会計Ⅱ	2 • 3 • 4	2							
				システムデザイン	2 • 3 • 4	2		0					
				情報ネットワーク概論Ⅱ	2 • 3 • 4	2		0					
				中級簿記	2 • 3 • 4	2			0)			
				データベース	2 • 3 • 4	2							
				統計学 I	2 • 3 • 4	2		0					
				マーケティングデータ分析Ⅱ	2 • 3 • 4	2			0)			
				管理会計入門	3 • 4	2			0			<u> </u>	
					3 • 4	2		0		,		<u> </u>	
				経営科学 I 経済統計学	3 • 4	2			0)			1
				-	-		 	\vdash				 	-
				財務管理I	3 • 4	2			0	,			1
				財務諸表分析	3 • 4	2	<u> </u>	0				<u> </u>	1
				財務報告	3 • 4	2			0)		<u> </u>	1
				システム分析概論	3 • 4	2							
				情報工学概論	3 • 4	2							ļ
				統計学Ⅱ	3 • 4	2		0					
				日本経済論	3 • 4	2		0					
				マーケティングリサーチ	3 • 4	2			0)			
				経営科学Ⅱ	3 • 4	2		0					
				経営と意思決定	3 • 4	2		0					
				国際会計論	3 • 4	2			0)			
				コンピュータネットワーク活用	3 • 4	2		0					
				財務管理Ⅱ	3 • 4	2			0)			
授業	経	経		情報セキュリティ	3 • 4	2						1	
未科	営情	営情	専		-	2	1						
目	情 報	情恕	門科	情報通信と社会	3 • 4							<u> </u>	
の概	学	報学	目	データ解析	3 • 4	2		0				1	
恢 要	部	科		日本経済史Ⅱ	3 • 4	2		0					
^				マーケティングモデリング	3 • 4	2			0				
				地域観光とビジネス	1 • 2 • 3 • 4		2		0				
				マーケティングマネジメント論	1 • 2 • 3 • 4		2		0)			
				Basic Office English I	2 · 3 · 4		2						
				Practical English Conversation I□	2 • 3 • 4		2						
				TOEIC I	2 • 3 • 4		2	0	0)			
				アートマネジメントI	2 • 3 • 4		2	0					
				海外研修I	2 • 3 • 4		2						
				海外研修II	2 • 3 • 4		2	0					
				海外研修III	2 • 3 • 4		2	0					
				観光学概論	2 • 3 • 4		2	0					
				韓国ビジネスコミュニケーションI	2 • 3 • 4		2	l t					
				経営学概論I	2 · 3 · 4		2	0					
				国際経営入門 I	2 • 3 • 4		2	0					
				情報法	2 • 3 • 4		2	\vdash	-+			-	+
				スポーツマーケティング論Ⅰ	2 • 3 • 4		2	0	-+			-	+
				スホーフマークティンク論 I 中国ビジネスコミュニケーションI			2					 	-
	İ				2 • 3 • 4			 				-	1
		. 1		ドイツ語Ⅰ	2 • 3 • 4		2	 -				<u> </u>	1
				フランス語 I	2 • 3 • 4		2					1	
				マーケティング戦略	2 • 3 • 4		2						ļ
				余暇マネジメント I	2 • 3 • 4		2	0					
				-	+						1		
				Basic Office English II	2 • 3 • 4		2						
				Basic Office English II Practical English Conversation II□	+		2						
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ	2 • 3 • 4		+	0)			
				Basic Office English II Practical English Conversation II□	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4		2	0)			
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2)			
				Basic Office English II Practical English Conversation II□ TOEIC II Webサービス開発	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4		2 2 2	0)			
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ Webサービス開発 アートマネジメントⅡ 韓国ビジネスコミュニケーションII	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2	0)			
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ Webサービス開発 アートマネジメントⅡ 韓国ビジネスコミュニケーションII 経営学概論 I I	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2 2 2 2	0)			
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ Webサービス開発 アートマネジメントⅡ 韓国ビジネスコミュニケーションII 経営学概論 I Ⅰ 経営組織 I	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2 2 2 2 2	0)			
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ Webサービス開発 アートマネジメントⅡ 韓国ビジネスコミュニケーションII 経営学概論 I Ⅰ 経営組織 Ⅰ 現代アメリカ論	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2 2 2 2 2 2	0)			
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ Webサービス開発 アートマネジメントⅡ 韓国ビジネスコミュニケーションII 経営学概論 I Ⅱ 経営組織 Ⅰ 現代アメリカ論 現代中国論入門	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0)			
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ Webサービス開発 アートマネジメントⅡ 韓国ビジネスコミュニケーションII 経営学概論 I Ⅰ 経営組織 I 現代アメリカ論 現代中国論入門 国際経営入門Ⅱ	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0)			
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ Webサービス開発 アートマネジメントⅡ 韓国ビジネスコミュニケーションII 経営学概論 I Ⅰ 経営組織 I 現代アメリカ論 現代中国論入門 国際経営入門Ⅱ 実践的事業経営特講	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0					
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ Webサービス開発 アートマネジメントⅡ 韓国ビジネスコミュニケーションII 経営学概論 I Ⅰ 経営組織 Ⅰ 現代アメリカ論 現代中国論入門 国際経営入門Ⅱ 実践的事業経営特講 消費心理	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ Webサービス開発 アートマネジメントⅡ 韓国ビジネスコミュニケーションII 経営学概論 I Ⅰ 経営学概論 I 現代アメリカ論 現代中国論入門 国際経営入門Ⅱ 実践的事業経営特講 消費心理 スポーツマーケティング論Ⅱ	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0					
				Basic Office English Ⅱ Practical English Conversation II□ TOEIC Ⅱ Webサービス開発 アートマネジメントⅡ 韓国ビジネスコミュニケーションII 経営学概論 I Ⅰ 経営組織 Ⅰ 現代アメリカ論 現代中国論入門 国際経営入門Ⅱ 実践的事業経営特講 消費心理	2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						

			1	1								
					日本経営史I	3 • 4		2	0			
					日本経済史 I	3 • 4		2	0			
					フランス語Ⅱ	2 • 3 • 4		2	l i		† †	
	1								 	_	₩	
					余暇マネジメントⅡ	2 • 3 • 4		2	0			
	1				経営実務I	3 • 4		2		Ì		
	1					ļ			 	-	+-+	
					経営組織Ⅱ	3 • 4		2				
	1				現代韓国論 I	3 • 4		2	0			
											++	-
ı					現代世界を学ぶ I	3 · 4		2				
ı					現代中国論 I	3 • 4		2	0			
						-			- U		+	
ı					現代メディア論I	3 • 4		2				
					国際関係 I	3 • 4		2				
									+		++	2011 (- 1115#) 18
ı					先端技術論 I	3 · 4		2				2011年開講せず
					先端技術論Ⅱ	3 • 4		2				
											++	
ı					多国籍企業 I	3 · 4		2	0			
					比較文化論 I	3 • 4		2				
											+	0011左開業 1113
					ビジネス特講I	3 • 4		2				2011年開講せず
					北東アジア論I	3 • 4		2	0			
					W-L-プロガラミンガ	2 - 4		0			1 1	
					Webプログラミング	3 • 4		2				
					グローバルインベスター論	3 • 4		2	0			
					経営実務Ⅱ	9 - 4		2			1 1	
			-ter			3 · 4					 	
			専		経営実務スタディ	3 • 4		2				
	1		門	1	現代韓国論Ⅱ	3 • 4		2	0		+ +	
l	1		科	1		-			U		+	
l	1		目	1	現代世界を学ぶⅡ	3 • 4		2	1		1 1	
ı	1			1	現代中国論Ⅱ	3 • 4		2	0		1 1	1
	1			1		ļ					+	-+
	1	経		1	現代メディア論Ⅱ	3 • 4		2	1		1 1	
	1	営			国際関係Ⅱ	3 • 4		2		1		
	1	情							 		+-+	
ı	1	報		1	志起業論 I	3 • 4		2	1		1 1	
ı	1	学		1	志起業論Ⅱ	3 • 4		2				
	1	科				ļ			 		+-+	
l	1	1-1		1	社会経済政策	3 • 4		2	0		<u>1 </u>	<u></u>
ı	1			1	社会システム論	3 • 4		2				
	1			1		-			 		++	-+
					社会調査士実習 I	4		2		0		
					社会調査士実習Ⅱ	4		2		0		
									+		++	
					情報と職業	3 • 4		2		0		
					多国籍企業Ⅱ	3 • 4		2	0			
						-					+	
	1			1	地域経済と公共政策	3 • 4		2	0		الـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	
授	600				都市・地域マネジメント	3 • 4	-	2	0			
業	経									+	+	
業科	営			1	日本経営史Ⅱ	3 • 4		2	0		$\perp \perp \perp$	
目	情				日本政治史	3 • 4		2	0			
の	報			1	認知心理	3 • 4		2		0	++	
概	学			1		-			\vdash	\cup	+	
要	部				比較文化論Ⅱ	3 • 4		2				
女					ビジネス特講Ⅱ	3 • 4		2				2011年開講せず
												2011年開講已9
					フューチャープラニング	3 • 4		2				
					北東アジア論Ⅱ	3 • 4		2	0		1 1	
								- 4			++	
					プレゼミナール	1 • 2 • 3 • 4	2		0	0		
					ホームゼミナール I	2		2	0	0		
										_	+	
					ホームゼミナールII	2		2	0	0		
					ホームゼミナールIII	3		2	0	0		
	1									0	++	
			演					_	0		1	
			習		ホームゼミナールIV	3		2	0	U		
			習 科					2 2	0		+-+	
			習		ホームゼミナールV	4		2	0	0		
			習 科									
			習 科		ホームゼミナールV	4		2	0	0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール	4 4 2 • 3 • 4		2 2 2	0	0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール	4 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4		2 2 2 2	0	0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール	4 4 2 • 3 • 4		2 2 2	0	0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール	4 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4	1	2 2 2 2	0	0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー	$\begin{array}{c} 4 \\ 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \end{array}$		2 2 2 2	0 0	0 0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI (ネットワークサービス)	$\begin{array}{c} 4 \\ \hline 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline \end{array}$	2	2 2 2 2	0 0	0 0 0 0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー	$\begin{array}{c} 4 \\ 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \end{array}$		2 2 2 2	0 0	0 0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎	$\begin{array}{c} 4 \\ \hline 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline \end{array}$	2	2 2 2 2	0	0 0 0 0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2	2 2 2 2	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I	$\begin{array}{c} 4 \\ 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \end{array}$	2 1 2 2	2 2 2 2		0 0 0 0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 経営情報論 I	$\begin{array}{c} 4 \\ 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \end{array}$	2 1 2 2 2	2 2 2 2	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0		
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I	$\begin{array}{c} 4 \\ 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \end{array}$	2 1 2 2	2 2 2 2		0 0 0 0		2011年開講せず
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 問題解決学総論 (入門)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2	2 2 2 2		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2011年開講せず
		7	習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 経営情報論 I 問題解決学総論 (入門) 特別講座 I	$\begin{array}{c} 4 \\ \hline 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline \end{array}$	2 1 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2011年開講せず
			習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI(ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 問題解決学総論(入門) 特別講座 I 特別講座 I	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2011年開講せず
		マネジ	習 科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 超関解決学総論 (入門) 特別講座 I マネジメントデザイン論 I (図解表現)	$\begin{array}{c} 4 \\ \hline 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline 2 \cdot 3 \cdot 4 \\ \hline \end{array}$	2 1 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2011年開講せず
		ネ	習科目		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI(ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 問題解決学総論(入門) 特別講座 I 特別講座 I	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2011年開講せず
		ネジ	習 科	ΑŢΔ	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 超関解決学総論 (入門) 特別講座 I マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (図解表現)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2011年開講せず
		ネジメ	習科目	A区分	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 題関解決学総論 (入門) 特別講座 I マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (図解表現)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2011年開講せず
		ネジメン	習科目	A区分	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 題質解決学総論 (入門) 特別講座 I マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (区解表現) マネジメントデザイン論 I (区解表現) マネジメントデザイン論 I (区解表現)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメント	習科目基本科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 題関解決学総論 (入門) 特別講座 I マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (図解表現)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2011年開講せず
		ネジメントデザ	習科目基本	(立志・グ	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 問題解決学総論 (入門) 特別講座 I マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (図解表現) 多摩学入門 I (歴史) 立志論 I (スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門 I (社会経済)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイ	習科目基本科		ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI(ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 超関解決学総論(入門) 特別講座 I 特別講座 I 特別講座 II でネジメントデザイン論 I(図解表現) マネジメントデザイン論 I(図解表現) 多摩学入門 I(歴史) 立志論 I(スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門 I(社会経済) 立志論 I(立志事業家論)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン	習科目基本科	(立志・グ	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 超麗解決学総論(入門) 特別講座I マネジメントデザイン論I (図解表現) マネジメントデザイン論I (区解表現) マネジメントデザイン論I (区解表現) マネジメントデザイン論I (立志論V:立志人物論) 多摩学入門I (歴史) 立志論I (スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門II (社会経済) 立志論II (立志事業家論) 世界潮流入門	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン学	習科目基本科	(立志・グ	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI(ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 超関解決学総論(入門) 特別講座 I 特別講座 I 特別講座 II でネジメントデザイン論 I(図解表現) マネジメントデザイン論 I(図解表現) 多摩学入門 I(歴史) 立志論 I(スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門 I(社会経済) 立志論 I(立志事業家論)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン	習科目基本科	(立志・グ ローカル)	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 問題解決学総論(入門) 特別講座I マネジメントデザイン論I (図解表現) マネジメントデザイン論I (立志論N:立志人物論) 多摩学入門I (歴史) 立志論I (スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門II (社会経済) 立志論II (立志事業家論) 世界潮流入門 立志論II (立志起業家論)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン学	習科目基本科	(立志・グ	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 問題解決学総論 (入門) 特別講座 I マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (位志論W: 立志人物論) 多摩学入門 I (歴史) 立志論 I (スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門 II (社会経済) 立志論 II (立志事業家論) 世界潮流入門 立志論 II (立志起業家論) 経営基礎I	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン学	習科目基本科	(立志・グ ローカル)	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 問題解決学総論(入門) 特別講座I マネジメントデザイン論I (図解表現) マネジメントデザイン論I (立志論N:立志人物論) 多摩学入門I (歴史) 立志論I (スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門II (社会経済) 立志論II (立志事業家論) 世界潮流入門 立志論II (立志起業家論)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン学	習科目基本科	(立志・グ ローカル)	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 題関解決学総論(入門) 特別講座 I マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (立志論W: 立志人物論) 多摩学入門 I (歴史) 立志論 I (スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門 II (社会経済) 立志論 II (立志車業家論) 世界潮流入門 立志論III (立志起業家論) 経営基礎I 産業社会論入門 I (経済)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン学	習科目基本科	(立志・グ ローカル) B区分	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 超階解決学総論(入門) 特別講座 I マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (立志論W:立志人物論) 多摩学入門 I (歴史) 立志論 I (スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門 I (社会経済) 立志論 II (立志事業家論) 世界潮流入門 立志論II (立志起業家論) 経営基礎I 産業社会論入門 I (経済) マーケティング入門	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン学	習科目基本科	(立志・グ ローカル) B区分	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI(ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 問題解決学総論(入門) 特別講座I マネジメントデザイン論I(図解表現) マネジメントデザイン論I(図解表現) 多摩学入門I(歴史) 立志論I(ユポーツマンシップ立国論) 多摩学入門I(社会経済) 立志論II(立志事業家論) 世界潮流入門 立志論II(立志起業家論) 経業社会論入門I(経済) マーケティング入門 リサーチ入門	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン学	習科目基本科	(立志・グ ローカル) B区分 (ビジネ ス・情報・	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービス I (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論 I 超階解決学総論(入門) 特別講座 I マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (立志論W:立志人物論) 多摩学入門 I (歴史) 立志論 I (スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門 I (社会経済) 立志論 II (立志事業家論) 世界潮流入門 立志論II (立志起業家論) 経営基礎I 産業社会論入門 I (経済) マーケティング入門	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン学	習科目基本科	(立志・グ ローカル) B区分	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI(ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 問題解決学総論(入門) 特別講座I 特別講座I 特別講座I を対したデザイン論I(図解表現) マネジメントデザイン論I(図解表現) マネジメントデザイン論I(図解表現) シ摩学入門I(歴史) 立志論I(スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門I(社会経済) 立志論II(立志事業家論) 世界潮流入門 立志論II(立志起業家論) 経営基礎I 産業社会論入門I(経済) マーケティング入門 リサーチ入門 経営基礎II	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン学	習科目基本科	(立志・グ ローカル) B区分 (ビジネ ス・情報・	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI (ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 問題解決学総論 (入門) 特別講座 I 特別講座 I 特別講座 I をネジメントデザイン論 I (図解表現) マネジメントデザイン論 I (図解表現) を変学入門 I (歴史) 立志論 II (立志事業家論) を変学入門 I (社会経済) 立志論 II (立志起業家論) 経営基礎 II 産業社会論入門 I (経済) マーケティング入門 リサーチ入門 経営基礎 II 産業社会論入門 II (会計)	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず
		ネジメントデザイン学	習科目基本科	(立志・グ ローカル) B区分 (ビジネ ス・情報・	ホームゼミナールV ホームゼミナールVI プロジェクトゼミナール 合同ゼミナール 社会工学研究会 ITリテラシー 情報サービスI(ネットワークサービス) ビジネス数学基礎 ビジネス入門 経営情報論I 問題解決学総論(入門) 特別講座I 特別講座I 特別講座I を対したデザイン論I(図解表現) マネジメントデザイン論I(図解表現) マネジメントデザイン論I(図解表現) シ摩学入門I(歴史) 立志論I(スポーツマンシップ立国論) 多摩学入門I(社会経済) 立志論II(立志事業家論) 世界潮流入門 立志論II(立志起業家論) 経営基礎I 産業社会論入門I(経済) マーケティング入門 リサーチ入門 経営基礎II	4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				2011年開講せず

변 20 전 20 전 20 전 20 전 20 전 20 전 20 전 20	1				C区分	文章伝達入門	1 • 2 • 3 • 4	2)				
변화 *** *** ***								2							
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							2 • 3 • 4	2							
### 1 1 1 1 2 2 3 2 2 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4 4 3 4 4 4 3 4 4 4 3 4 4 4 3 4 4 4 3 4												0			1
# 1456 1 12-23-14 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0				基				2							-
### (2007) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							-							•	+
#### 1998년 1 12-23-1 2 0 0 0 0 1 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0				科	1					 				\vdash	+
# 報知日				目	/\							_			+
# 2008 1-2-3-4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1					(言語)			2							
程子(1997) 전 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						韓国語Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4	2				0			
# 大会性						中国語Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4	2							
# 大会性						プログラミング言語入門Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4	2)				
(日本) 日本 (日本) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			ŀ		†		_		9		/				9011年間課址学
							_								2011年開講で 9
변송 변송) 1-2-3-4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0							1 • 2 • 3 • 4		2						
변출하는 전체						スポーツI	1 • 2 • 3 • 4		2			0			
### 변경보고 12-3-14 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						特別語学研修I	1 • 2 • 3 • 4		2						
### 변경보고 12-3-14 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						法学 (憲法)	1 • 2 • 3 • 4		2						
변형하게 192-30-4 2 0 0 0 14-30 개발							_		9			\cap			+
接着計画の理解を							_								+
接受											,				2011 77 885# 32 18
변출하는 전투 기 1-2-3-4 2 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2 0 0 0 0 0 0 1 1-2-3-4 1 2															2011年開講せず
(教育書班法) 1.22-314 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						自然科学概論Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2						
接受 전 1 - 2 - 3 - 4						社会科学入門	1 • 2 • 3 • 4		2						
변경하다 전문 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전						情報探索法	1 • 2 • 3 • 4		2						
변경하다 전문 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전							1 • 2 • 3 • 4)				1
변楽한 1-25-14 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0										 				\vdash	+
변출자 1 12 - 3 - 4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					ĺ					 				\vdash	+
정														⊢—	+
接着日の関係 (2 本) 4										\vdash				<u> </u>	1
接案解析機等字 2:3・4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				基		Webデザイン	2 • 3 • 4		2			0			
接続				礎	1	経営情報数学I	2 • 3 • 4	L	2				L		
接着性的化を含える1 2・3・4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					1	スポーツⅡ	2 • 3 • 4		2			0			
接針				目	1		_								1
接着作の展現である。					1					 				\vdash	+
변 보고 보고 수 대 전					1		_								+
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##					1)			<u> </u>	1
전表 歴史と文化 (1) 2 - 3 - 4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						ビジネススキル基礎I	2 • 3 • 4		2						
要求						ビジネススキル基礎II	2 • 3 • 4		2						
接着音音						マクロ経済学	2 • 3 • 4		2						
接着音音			7			歴史と文化	2 • 3 • 4		2)				
経済							_								+
	極		ジ									\cap			+
株式 株式 株式 株式 株式 株式 株式 株	1文 4	経				1	_					0			_
株式 株式 株式 株式 株式 株式 株式 株	科														
### ### ### ### ### ### ### ### ### #	目					経営情報数学II	2 • 3 • 4		2						
### 日本の	v) ;	学	ザ			現代の産業と企業	2 • 3 • 4		2						
マークティングデータ分析 I 2・3・4 2 2 日本経済治 2・3・4 2 2 日本経済治 3・4 2 日本経済法 3・4 2	19亿 3					社会心理	2 • 3 • 4		2						
地球温暖化を考える日 2・3・4 2 ○	女					スポーツと健康	2 • 3 • 4		2						
************************************							_							•	+
地域社会とビジネス			什							1		_			+
地域活性化戦略論							_		2						_
Tiマネジメント 2・3・4 2								2							
財務会計 I						地域活性化戦略論	1 • 2 • 3 • 4	2				0			
情報社会論						ITマネジメント I	2 • 3 • 4	2							
情報社会論						財務会計I	2 • 3 • 4	2							
情報ネットワーク概論 I 2・3・4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○							2 • 3 • 4	2)				
初級権記							_								+
プログラミング言語											_				+
マーケティングデータ分析 I 2・3・4 2 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □												0			
TiマネジメントⅡ					1		2 • 3 • 4)				
金融論					1	マーケティングデータ分析 I	2 · 3 · 4	2		$oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}}}$	1	0			<u></u>
原価分析					ĺ	ITマネジメントⅡ	2 • 3 • 4	2							
原価分析					1	金融論	2 • 3 • 4	2				0			1
国際経済					1		-								+
コンピュータサイエンス					1							\cap		\vdash	+
財務会計 II					1		+			 		$\overline{}$		\vdash	+
システムデザイン 2・3・4 2 ○ 情報ネットワーク概論 II 2・3・4 2 ○ 中級簿記 2・3・4 2 ○ データベース 2・3・4 2 ○ 統計学 I 2・3・4 2 ○ 空母会計入門 3・4 2 ○ 経済終計学 I 3・4 2 ○ 財務管理 I 3・4 2 ○ 財務審費分析 3・4 2 ○ 財務報告 3・4 2 ○ システム分析概論 3・4 2 ○ 情報工学概論 3・4 2 ○ 成計学 I 3・4 2 ○ 財務審告 3・4 2 ○ システム分析概論 3・4 2 ○ 情報工学概論 3・4 2 ○ 日本経済論 3・4 2 ○ マーケティングリサーチ 3・4 2 ○ 経営科学 II 3・4 2 ○ 経営社学所 3・4 2 ○ 経営社学所 3・4 2 ○ 経営社学所 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td>ĺ</td><td></td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td>)</td><td></td><td></td><td>—</td><td>+</td></td<>					ĺ		_)			—	+
情報ネットワーク概論Ⅱ 2・3・4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					1		+			$\sqcup \bot$				Ь—	1
中級簿記 2・3・4 2 ○ データベース 2・3・4 2 ○ 統計学 I 2・3・4 2 ○ マーケティングデータ分析 II 2・3・4 2 ○ 管理会計入門 3・4 2 ○ 経営科学 I 3・4 2 ○ 財務管理 I 3・4 2 ○ 財務報告 3・4 2 ○ システム分析概論 3・4 2 ○ 情報工学概論 3・4 2 ○ 村学 II 3・4 2 ○ 日本経済論 3・4 2 ○ 経営科学 II 3・4 2 ○ 経営科学 II 3・4 2 ○ 経営と意思決定 3・4 2 ○					1		2 • 3 • 4	2	<u> </u>				<u> </u>	<u></u>	
データベース 2・3・4 2 統計学 I 2・3・4 2 マーケティングデータ分析 II 2・3・4 2 管理会計入門 3・4 2 経営科学 I 3・4 2 財務管理 I 3・4 2 財務離去分析 3・4 2 システム分析概論 3・4 2 情報工学概論 3・4 2 統計学 II 3・4 2 日本経済論 3・4 2 マーケティングリサーチ 3・4 2 経営科学 II 3・4 2 経営と意思決定 3・4 2					1	情報ネットワーク概論Ⅱ	2 • 3 • 4	2							
データベース 2・3・4 2 統計学 I 2・3・4 2 マーケティングデータ分析 II 2・3・4 2 管理会計入門 3・4 2 経営科学 I 3・4 2 財務管理 I 3・4 2 財務離去分析 3・4 2 システム分析概論 3・4 2 情報工学概論 3・4 2 統計学 II 3・4 2 日本経済論 3・4 2 マーケティングリサーチ 3・4 2 経営科学 II 3・4 2 経営と意思決定 3・4 2					1	中級簿記	2 • 3 • 4	2				0			1
統計学 I 2・3・4 2 ○ マーケティングデータ分析 II 2・3・4 2 ○ 管理会計入門 3・4 2 ○ 経営科学 I 3・4 2 ○ 財務管理 I 3・4 2 ○ 財務報告 3・4 2 ○ システム分析概論 3・4 2 ○ 情報工学概論 3・4 2 ○ 統計学 II 3・4 2 ○ 日本経済論 3・4 2 ○ マーケティングリサーチ 3・4 2 ○ 経営科学 II 3・4 2 ○ 経営と意思決定 3・4 2 ○					ĺ		+								1
マーケティングデータ分析 II 2・3・4 2					1					-				\vdash	+
管理会計入門 3・4 2 ○ 経営科学 I 3・4 2 ○ 経済統計学 3・4 2 ○ 財務管理 I 3・4 2 ○ 財務報告 3・4 2 ○ システム分析概論 3・4 2 ○ 情報工学概論 3・4 2 ○ 統計学 II 3・4 2 ○ 日本経済論 3・4 2 ○ マーケティングリサーチ 3・4 2 ○ 経営科学 II 3・4 2 ○ 経営と意思決定 3・4 2 ○					1					 		\cap		\vdash	+
経営科学 I 3・4 2 ○ 経済統計学 3・4 2 ○ 財務管理 I 3・4 2 ○ 財務報告 3・4 2 ○ システム分析概論 3・4 2 ○ 情報工学概論 3・4 2 ○ 統計学 II 3・4 2 ○ 日本経済論 3・4 2 ○ マーケティングリサーチ 3・4 2 ○ 経営科学 II 3・4 2 ○ 経営と意思決定 3・4 2 ○					1					+-+				—	
経済統計学 3・4 2 ○ 財務管理 I 3・4 2 ○ 財務諸妻分析 3・4 2 ○ 財務報告 3・4 2 ○ システム分析概論 3・4 2 ○ 情報工学概論 3・4 2 ○ 統計学 II 3・4 2 ○ 日本経済論 3・4 2 ○ 平一ケティングリサーチ 3・4 2 ○ 経営科学 II 3・4 2 ○ 経営と意思決定 3・4 2 ○					1		+			$\sqcup \bot$		U		Ь—	1
財務管理 I 3・4 2 ○ ○ 日 対					ĺ	経営科学I	3 • 4	2							<u> </u>
財務諸表分析 3・4 2 ○ □ □ 財務報告 3・4 2 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					ĺ	経済統計学	3 • 4	2				0			
財務諸妻分析 3・4 2 ○					1	財務管理I	3 • 4	2				0			1
財務報告 3・4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					1										1
システム分析概論 3・4 2 情報工学概論 3・4 2 統計学 II 3・4 2 日本経済論 3・4 2 マーケティングリサーチ 3・4 2 経営科学 II 3・4 2 経営と意思決定 3・4 2					1		_					\cap		\vdash	+
情報工学概論 3・4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					1		+			+		\cup		 	+
統計学II 3・4 2 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					1					\perp				<u> </u>	
日本経済論 3・4 2 ○ マーケティングリサーチ 3・4 2 ○ 経営科学 II 3・4 2 ○ 経営と意思決定 3・4 2 ○					ĺ	情報工学概論	3 • 4	2							
マーケティングリサーチ 3・4 2 ○ 経営科学II 3・4 2 ○ 経営と意思決定 3・4 2 ○					1	統計学Ⅱ	3 • 4	2	Ī				Ī		
マーケティングリサーチ 3・4 2 ○ 経営科学II 3・4 2 ○ 経営と意思決定 3・4 2 ○					1		3 • 4	2)				1
経営科学II 3・4 2 ○ 経営と意思決定 3・4 2 ○	- 1				1					 		\cap		\vdash	+
経営と意思決定 3・4 2 ○							_					$\overline{}$		\vdash	+
					1				1				1	——	<u> </u>
			l												

多麽大学

多	摩大学						
国際会計論	3 • 4	2			0		
コンピュータネットワーク活用	3 • 4	2		0			
財務管理Ⅱ	3 • 4	2			0		
情報セキュリティ	3 • 4	2					
情報通信と社会	3 • 4	2					
データ解析	3 • 4	2		0			
日本経済史Ⅱ	3 • 4	2		0	0		
マーケティングモデリング	3 • 4	2	0		0		
地域観光とビジネスマーケティングマネジメント論	1 • 2 • 3 • 4		2		0		
Basic Office English I	2 • 3 • 4		2		0		
Practical English Conversation I	2 • 3 • 4		2				
TOEIC I	2 • 3 • 4		2	0	0		
アートマネジメントI	2 • 3 • 4		2	0			
海外研修I	2 • 3 • 4		2				
海外研修II	2 • 3 • 4		2	0			
海外研修III	2 • 3 • 4		2	0			
観光学概論	2 • 3 • 4		2	0			
韓国ビジネスコミュニケーションⅠ	2 • 3 • 4		2				
経営学概論I	2 • 3 • 4		2	0			
国際経営入門 I	2 • 3 • 4		2	0			
情報法	2 • 3 • 4		2	_			
スポーツマーケティング論 I 中国ビジネスコミュニケーションI	2 • 3 • 4		2	0			
中国ピンネスコミュニケーションI ドイツ語 I	2 • 3 • 4		2				
アイン語 I フランス語 I	2 • 3 • 4		2				
マーケティング戦略	2 • 3 • 4		2				
余暇マネジメント I	2 • 3 • 4		2	0			
Basic Office English II	2 • 3 • 4		2				
Practical English Conversation II□	2 • 3 • 4		2				
TOEIC II	2 • 3 • 4		2	0	0		
Webサービス開発	3 • 4		2	0			
アートマネジメントⅡ	2 • 3 • 4		2	0			
韓国ビジネスコミュニケーションII	2 • 3 • 4		2				
経営学概論 I I	2 • 3 • 4		2	0			
経営組織I	2 • 3 • 4		2				
現代アメリカ論	2 • 3 • 4		2				
現代中国論入門	2 • 3 • 4		2	0			
国際経営入門Ⅱ	2 • 3 • 4		2	0			
実践的事業経営特講	2 • 3 • 4		2				
消費心理 スポーツマーケティング論Ⅱ	2 • 3 • 4		2	0	0		
中国ビジネスコミュニケーションII	2 • 3 • 4		2	0			
ドイツ語Ⅱ	2 • 3 • 4		2				
日本経営史I	3 • 4		2	0			
日本経済史I	3 • 4		2	0			
フランス語Ⅱ	2 • 3 • 4		2				
余暇マネジメントⅡ	2 • 3 • 4		2	0			
経営実務 [3 • 4		2				
経営組織Ⅱ	3 • 4		2				
現代韓国論 I	3 • 4		2	0			
現代世界を学ぶⅠ	3 • 4		2				
現代中国論Ⅰ	3 • 4		2	0			
現代メディア論Ⅰ	3 • 4		2			 	
国際関係 I	3 • 4		2		1		2011年間港 ユギ
先端技術論 I	3 • 4		2		-		2011年開講せず
先端技術論 II 多国籍企業 I	3 · 4 3 · 4		2	0			
を受しています。 比較文化論 I	3 • 4		2		-		
ビジネス特講I	3 • 4		2				2011年開講せず
北東アジア論Ⅰ	3 • 4		2	0			Disper C 7
Webプログラミング	3 • 4		2				
グローバルインベスター論	3 • 4		2	0			
経営実務Ⅱ	3 • 4		2				
経営実務スタディ	3 • 4		2				
現代韓国論Ⅱ	3 • 4		2	0			
現代世界を学ぶⅡ	3 • 4		2				
現代中国論Ⅱ	3 • 4		2	0			
現代メディア論Ⅱ	3 • 4		2				
国際関係Ⅱ	3 • 4		2			 	
志起業論 I	3 • 4		2		1		
志起業論Ⅱ	3 • 4		2				
社会経済政策	3 • 4		2	0	-		
社会システム論社会調査土実翌Ⅰ	3 • 4		2				
社会調査士実習 I 社会調査士実習 II	4		2		0		
山ム 且上大日			2		0		
情報と職業	3 • 4						

専門科目

授業科目の概要

マネジメントデザイン学科

経営情報学部

多国籍企業Ⅱ

				地域経済と公共政策	3 • 4	2	0			
				都市・地域マネジメント	3 • 4	2	0			
				日本経営史Ⅱ	3 • 4	2	0			
				日本政治史	3 • 4	2	0			
				認知心理	3 • 4	2		0		
		マ		比較文化論Ⅱ	3 • 4	2				
les		ネジ		ビジネス特講Ⅱ	3 • 4	2				2011年開講せず
授業科	経	メ		フューチャープラニング	3 • 4	2				
科	経営情報学部	ン		北東アジア論Ⅱ	3 • 4	2	0			
目	1官	トデ		プレゼミナール	1 • 2 • 3 • 4 2		0	0		
(D)	学	ザ		ホームゼミナール I	2	2	0	0		
概要	部	イン		ホームゼミナールII	2	2	0	0		
- '		学科	演	ホームゼミナールIII	3	2	0	0		
		科	習	ホームゼミナールIV	3	2	0	0		
				ホームゼミナールV	4	2	0	0		
			目	ホームゼミナールVI	4	2	0	0		
				プロジェクトゼミナール	2 • 3 • 4	2				
				合同ゼミナール	2 • 3 • 4	2	0	0		
				社会工学研究会	2 • 3 • 4	2	0	0		

- 1	T	^{ヘグ} アー	ィーズ学音	『グローバルスタディーズ学科 平成21年度以降入学生 T	<u> </u>		単位数		ı	亩亿数日	等の配置		I
	2	分野	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准数	講	助	備考
					ļ	修	択	由	授	授	師	教	
				英語集中教育:リーディング I 英語集中教育:リーディング I	1・2・3・4前	4				2 2	1 1		
				英語集中教育:ライティング I	1・2・3・4前	4			1	1	1		
				英語集中教育:ライティングⅡ	1・2・3・4後	4			1	1	1		
			語	英語集中教育:リスニング I	1・2・3・4前	4				3			
			学	英語集中教育:リスニング I 英語集中教育:スピーキング I	1・2・3・4後	4			,	3	,		
				英語集中教育: スピーキング I	1・2・3・4前	4			1		1		
				資格英語 I : TOEFL・TOEIC・IELTS特講 (2年次)	2・3・4前集	2			,	1	1		
				資格英語Ⅱ:TOEFL・TOEIC・IELTS特講(2年次)	2 · 3 · 4後集	2				1			
				地球史から見る日本	1・2・3・4前後		2			1			
				グローバルとローカル 人という概念	1・2・3・4後		2 2		1				
		基		心理学的視点	1・2・3・4前後		2		1				
		礎		経済学原論	1・2・3・4前後		2		-	1			
		教育		情報化社会とグローバル化	1・2・3・4後		2			1			
		科目		環境論	1・2・3・4前後		2		1				
		^H		現代世界における日本 英語集中教育:リーディングⅢ	1 · 2 · 3 · 4前後 2 · 3 · 4前		2				1		平成24年度開講し7
			共	英語集中教育:リーディングIV	2・3・4後		4						平成24年度開講し
			通 科	英語集中教育: リーディング V	3 • 4前		4						平成24年度開講した
			目	英語集中教育:リーディングVI	3・4後		4						平成24年度開講し
				英語集中教育:ライティングⅢ ************************************	2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4後		4						
				英語集中教育:ライティングIV 英語集中教育:ライティングV	3・4前		4						
				英語集中教育:ライティングVI	3・4後		4						
				英語集中教育:リスニングⅢ	2・3・4前		4						
				英語集中教育:リスニングIV	2・3・4後		4						
				英語集中教育:リスニングV 英語集中教育:リスニングVI	3・4前 3・4後		4 4						
				英語集中教育:スピーキングⅢ	2・3・4前		4						平成24年度開講し
				英語集中教育:スピーキングIV	2・3・4後		4						平成24年度開講した
				英語集中教育:スピーキングV	3・4前		4						平成24年度開講し
	H	+		英語集中教育:スピーキングVI	3・4後		単位数			専任教員	等の配置		平成24年度開講し
	1	分野	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	備考
						修	択	由	授	教 授	師	教	
				文化と自己	1・2・3・4後		4						
グロ				人格と人権 日本人の美意識	1・2・3・4後		4 4		1				
	.			グローバル・ヒストリー	1・2・3・4前		4		1				
バル				経営学入門	1・2・3・4前後		4			1			
スタ				コンピューター入門	1・2・3・4前後		4			1			
デ	1			日本文化と自己形成 地球社会の切り口:日本文化	2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4後		4 4		1	1			
1				経済学入門	2・3・4前後		4			1			
ズ				統計学入門	2・3・4前		4			1			
学部				国際関係論入門	1・2・3・4前		4		1				
"				文化心理学	1・2・3・4後		4		1				
				文化人類学入門 ヴィジュアルコミュニケーション入門	1・2・3・4後 2・3・4前後		4 4				1		
		基礎	共	国際経営論基礎	2・3・4前		4		1		1		
		教	通	心理学:統計的アプローチ	2・3・4前		4		1				
		育科	科目	女性と家族	2・3・4前		4			1			
		Ħ	_	日英語比較による英語学概論 個人史による自己開発	2・3・4前 2・3・4前後		4		1				平成24年度開講し
				日本人とアジアの宗教	2・3・4後		4		1				
				西欧文化の自意識:考える葦	2・3・4後		4						
				キャリア形成論	1・2・3・4前後		4		1				
				国内インターンシップ	2前後		4		1		,		
				日本語文章表現法 Study Abroad : Academic I	3・4前後 1・2・3・4集		3				1		
				Study Abroad : Academic II	1・2・3・4集		2						
				Study Abroad : Academic III	1・2・3・4集		2						
				Study Abroad : Community Service I	1・2・3・4集		3						
				Study Abroad : Community Service II Study Abroad : Community Service III	1・2・3・4集		2 2						
				Study Abroad : Language I	1・2・3・4集		2						
				Study Abroad : Language II	1・2・3・4集		2						
	ŀ	\rightarrow		Study Abroad : Language III	1・2・3・4集		単位数			亩亿数日	等の配置		
	2	分野	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	備考
	L	_				修	択	由	授	教 授	師	教	
				Internship Abroad 世界の中の日本文学:翻訳文学	3前 1・2・3・4後		4		1		1		
				世界の中の日本文化:アニメーション	1・2・3・4前		4						
				世界の中の日本文化:日本の映画監督	1・2・3・4前		4						
				現代日本の芸術論入門現代日本文学との対話	1・2・3・4前後		4				1		
		基		現代日本文字との対話 日本人の演劇性:古典と現代	1 · 2 · 3 · 4前後 1 · 2 · 3 · 4後		4 4				1		
		礎	共	日本の歴史	1・2・3・4後		4						
		教育	通 科	日本の法律	1・2・3・4前後		4						
		科目	Ē	日本語初級 I	1・2・3・4後		4						
	-1	H		日本語初級 II 日本語初級 III	1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4前		4 4						平成24年度開講し
	-	- 1			1・2・3・4前		4						平成24年度開講し
				1 日 冬 前 初 級 IV									
				日本語初級IV 日本語中級 I	1・2・3・4個		4						T MAZI T DE DITING C
				日本語中級 I 日本語中級 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前		4						T MAZET TO MINING OF
				日本語中級 I	1・2・3・4後		4						T MAZI T IX [M] BHY O'

		П		1			単位数			専任教員	等の配置		
		分野	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	備考
						修	択	由	授	教 授	師	教	
				言語表現と自己形成	2・3・4前		4			1			
				身体表現と日本人の自己形成	2・3・4後		4			1			
				体の治療と心の癒し 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの	2・3・4前		4			1			
				普遍的人間:シェイクスピアの人間観	2·3·4前 2·3·4後		4						
				消費者としての女性	2・3・4前後		4						
				社会言語学	2・3・4前後		4				1		
				文化人類学講座	2・3・4後		4			1			
				芸術という価値	2・3・4前		4						平成24年度開講しない
				記号論入門	2・3・4前後		4				1		
			ホー	21世紀:ポストモダニズム後の世界 日本人とアジアの美学	2·3·4後 2·3·4後		4		1		1		
			ス ピ	東西文化交流:紅茶とコーヒーをめぐって	2・3・4前		2		1				
		-	タ リ	アフリカ文化と自己形成	3 • 4前		4				1		
		専門	テ	宗教と自己形成:日本の事例	3・4前後		4			1			
		判教	<i>1</i>	宗教と自己形成:アフリカの事例 聡知心埋字人	3・4後		4				1		
		育科	~	阳	3・4前		4		1				
		目	ネ	言語と認知 教育人類学	3·4後 3·4後		4		1				
			ジメ	教育人類子 他者の発見	3・4按 3・4前		4				1		
			ン	日本人の宗教観	3・4前		4		1		•		
			ŀ	仏教・儒教・ヒンズー教	3・4後		4						平成24年度開講しない
				キリスト教の世界観	3・4後		4			1			
				文学に表れる倫理観	3・4前		4						
				グローバルとローカル:観光 世界の食文化	3・4前		4			1			
				ホスピタリティ I	3・4前後 3・4前後		4						
	ヷ			ホスピタリティⅡ	3・4前後		4						
				ホスピタリティⅢ	3・4前後		4						
授	バ			コミュニケーション	3・4前後		4						
業	ル			通訳入門	3・4前後		4						
科目	スタ	$\vdash\vdash$		翻訳入門	3・4前後		単位数		1	亩红粉目	等の配置		
の概	デ	分野	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	備考
要	1	7,21	12,77	区来有 I 少有初	1 1 1 1	修	択	由	授	教 授	師	教	DHS5
	ズ学			地球社会と中央アジア	2・3・4集中	1135	4	В	1 1	13.	bili	叙	
	部			地球社会とアメリカ	2 · 3 · 4前後		4		1				
				地球社会とオーストラリア	2・3・4前		4						
				東アジア交流史:中国・韓国・日本の政治	2・3・4前		2						
									I			l .	
				東アジア交流史:中国・韓国・日本の文化	2・3・4後		2						
				21世紀地球社会の構図	2·3·4後 2·3·4前		4						
					2·3·4後 2·3·4前 2·3·4前後		4 4						
				21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民	2·3·4後 2·3·4前		4						平成24年度開講しない
			イン	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切りロ:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切りロ:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで	2·3·4後 2·3·4前 2·3·4前後 2·3·4前後		4 4 4						平成24年度開講しない
			ン タ	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降	2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前後 2 · 3 · 4前後 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4後		4 4 4 4						平成24年度開講しない
			ター	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関	2・3・4後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前		4 4 4 4 2 2 4		1				平成24年度開講しない
			ンターナシ	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義	2・3・4後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後		4 4 4 2 2 4 4		1 1				
		専	ンターナショ	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切りロ:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切りロ:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:秩序	2・3・4後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4衛後 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4後		4 4 4 4 2 2 2 4 4		1				平成24年度開講しない 平成24年度開講しない
		門	ンターナシ	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切りロ:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切りロ:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:秩序 法と国家:植民地の現実	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4後 2・3・4 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前		4 4 4 2 2 4 4		l .				
			ンターナショナル・	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切りロ:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切りロ:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:秩序	2・3・4後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4衛後 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4後		4 4 4 2 2 4 4 4		1		1		
		門教育科	ンターナショナ	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:秩序 法と国家:植民地の現実 地球社会と東アジア	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 3・4後		4 4 4 2 2 2 4 4 4 4		1		1 1		
		門教育	ンターナショナル・ディベ	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家: 様民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会とアリカ:未開の烙印 地球社会とアリカ:非西洋からの視点 地球社会と日本	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4後 2・3・46 3・46 3・46 3・46 3・46 3・46		4 4 4 2 2 2 4 4 4 4 4		1	1			
		門教育科	ンターナショナル・ディ	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:イーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:核序 法と国家:様民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会とアブリカ:未開の烙印 地球社会とアブリカ:非西洋からの視点 地球社会と日本 地球社会と日本	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後		4 4 4 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1	1			
		門教育科	ンターナショナル・ディベロップ	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:秩序 法と国家:核民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会と東アジア 地球社会とアブリカ:未開の烙印 地球社会とアブリカ:未開の烙印 地球社会とアブリカ: 未開の烙印 地球社会との倫理 地球環境と日本	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後		4 4 4 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4		1	1			
		門教育科	ンターナショナル・ディベロッ	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:核序 法と国家:様民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会とアブリカ:非西洋からの視点 地球社会とアブリカ:非西洋からの視点 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4 4 2・3・4前 3・4後 3・4 3・4 3・4 3・4 3・4 3・4 3・4 3・4 3・4 3・4		4 4 4 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1	1			平成24年度開講しない
		門教育科	ンターナショナル・ディベロップメ	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:秩序 法と国家:核民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会とアブリカ:未開の烙印 地球社会とアブリカ:非西洋からの視点 地球社会と日本 地球社会の倫理 地球環境と日本 西洋社会と日本	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 3・4後 3・4前 3・4前 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後		4 4 4 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1	1			
		門教育科	ンターナショナル・ディベロップメン	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:秩序 法と国家:核民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会と東アジア 地球社会とアブリカ:未開の烙印 地球社会とアブリカ:非西洋からの視点 地球社会と価理 地球環境と日本 西洋社会と日 本 日本政治の構造 日本外交の構造	2・3・4後 2・3・4前後 2・3・4前後後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前 2・3・46 3・4後 3・46 3・46 3・46 3・46 3・46 3・46 3・46 3・46		4 4 4 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1	1			平成24年度開講しない
		門教育科	ンターナショナル・ディベロップメン	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切りロ:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切りロ:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:植民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会と東アジア 地球社会と1779か:未開の烙印 地球社会と7779か:未開の烙印 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 西洋社会と日本 西洋社会と日本 日本政治の構造 日本外交の構造 日本外交の構造	2・3・4後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4者前 2・3・4者前 2・3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4前後 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後		4 4 4 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1	1			平成24年度開講しない 平成24年度開講しない
		門教育科	ンターナショナル・ディベロップメン	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家: 様民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会とアプカ:非两の烙印 地球社会とアプカ:非西洋からの視点 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 日本政治の構造 日本外交の構造 日本外交の構造 日本次明論	2 · 3 · 4 4 後 2 · 3 · 4 前 2 · 3 · 4 前 2 · 3 · 4 前 2 · 3 · 4 有 2 · 3 · 4 4 前 2 · 3 · 4 4 前 2 · 3 · 4 4 前 3 4 6 in 4 6 in 4 6 in 4 in 4 6 in 4 in 4		4 4 4 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1	1			平成24年度開講しない
		門教育科	ンターナショナル・ディベロップメン	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切りロ:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切りロ:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:植民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会と東アジア 地球社会と1779か:未開の烙印 地球社会と7779か:未開の烙印 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 西洋社会と日本 西洋社会と日本 日本政治の構造 日本外交の構造 日本外交の構造	2・3・4後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4者前 2・3・4者前 2・3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4前後 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後		4 4 4 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1	1			平成24年度開講しない 平成24年度開講しない
		門教育科	ンターナショナル・ディベロップメン	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:核氏 法と国家:核民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会とアブリカ:非西洋からの視点 地球社会とアブリカ:非西洋からの視点 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 本 日本政治の構造 日本外交の構造 日本次での治 民主主義再発見:主権	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4 4前後 2・3・4 4前後 3・4 4前後 3・4 4 3・4 4 4 3・4 4 4 3・4 4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 4 3・4 4 4 3・4 4 4 3・4 4 4 3・4 4 4 4		4 4 4 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1	1			平成24年度開講しない 平成24年度開講しない
		門教育科	ンターナショナル・ディベロップメン	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切りロ:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切りロ:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家: 植民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会とアアリカ:未開の烙印 地球社会と17リカ:未開の烙印 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 地球社会と日本 西洋社会と日本 田本政治の構造 日本外交の構造 日本外交の構造 日本が文の構造 日本が文の構造 日本が大の構造 日本が大の構造 日本が大の構造 日本が大の構造 日本が大の場合 日本が大のよりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたり	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4後前 2・3・4後前 2・3・4後前 3・4後前 3・4後前 3・4後後 3・4前後後 3・4前後後後後 3・4前後後後後 3・4前後後後後ろいる。		4 4 4 4 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1 1	1			平成24年度開講しない 平成24年度開講しない
		門教育科	ンターナショナル・ディベロップメン	21世紀地球社会の構図 21世紀地球社会の実現性:移民 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化 地球社会の切り口:オーストラリア先住民 日本美術交流:前近代まで 日本美術交流:近代以降 国際法と国際機関 民主主義 法と国家:秩序 法と国家:核民地の現実 地球社会と東アジア 地球社会と東アジア 地球社会とアブリカ:未開の烙印 地球社会とアブリカ:非西洋からの視点 地球社会との倫理 地球強会の倫理 地球環境と日本 西洋社会と日 本 西 本 西 本 西 本 西 本 西 本 西 本 西 本 西 本 西 本	2・3・4後 2・3・4前後 2・3・4前後後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・4前後 2・3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前後 3・46前 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		4 4 4 4 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1 1	1			平成24年度開講しない 平成24年度開講しない

1	l				タ 学八丁		単位数			専任教員	等の配置		
		分野	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	備考
						修	択	由	授	教 授	師	教	
		ľ		経営学	2・3・4後		4						
				経済学	2・3・4後		4			1			
				コーポレート・ファイナンス	2・3・4前		4			1			
				科学の心	2・3・4後		4			1			
				情報システムとネットワーク	2・3・4前		4			1			
				情報設計方法論	2・3・4前		4			1			
				グローバル社会と情報倫理	2・3・4前		4			1			
				情報メディア論	2・3・4後		4			1			
	グ			インターネット・テクノロジー	2・3・4前後		4			1			The same of the sa
				Web進化論:ネット革命下のビジネスモデル Webデータベース:分散データベースの理論と応用	2・3・4後		2						平成24年度開講しない
授	バ				2・3・4後		2						
業	ル		グ	IT革命の本質 「グリーン・エンジニアリング」21世紀の科学・技術	2・3・4後		4			1			
科	ス	_	□ l	サイボーグの光と影	2・3・4後		4		1				
目の	タデ	専門	バ	ナノテクのインパクト	2・3・4後		4						
概	1	教	ル	情報管理	2・3・4前		4			1			
要	Ĺ	育		国際経営論応用	3・4後		-		,	1			
	ズ	科目	ビ ジ	英文企業会計実務	3・4後		4		1				
	学部	L .	ネ	企業倫理と社会的責任	3・4後		2		1				
	пр		ス	消費主義の比較文化論	3・4前		4		1		1		
				日本の職場	3・4後		4				1		
				日本の仕事	3・4前		4				1		
				消費社会と日本の大衆文化	3・4後		4				1		
				異文化間マネージメント	3・4前		4				1		
				財務諸表分析	3・4後		4			1			
				金融工学入門	3・4前		4			1			
				立献エチ八円 コーポレート・ファイナンス:データ分析	3・4例		4		1	1		1	
				これからの海外進出の課題	3・4前		4		1	1			
				海外就職のための実践講座	3・4後		4		1				
				簿記	3・4前後		4		1				
				マーケティング	3・4前後		4						

多壓大学

グローバルスタディーズ学部グローバルスタディーズ学科 平成19・20年度入学生

	:	区分	授業科目の名称	配当年次	単位	数又は時	間数		専任教	員の配置		備考
分野		四刀	12未行日 ジ 石 作	HL3 TK	必修	選択	自 由	教 授	准教授	講師	助教	湘与
			英語集中教育:リーディング I	1 · 2 · 3 · 4前	4				2	1		
			英語集中教育:リーディングⅡ	1 · 2 · 3 · 4後	4				2	1		
			英語集中教育: ライティング I	1 · 2 · 3 · 4前	4			1	1	1		
			英語集中教育:ライティング Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4後	4			1	1	1		
			英語集中教育:リスニング I	1 · 2 · 3 · 4前	4				3			
		語	英語集中教育:リスニングⅡ	1 · 2 · 3 · 4後	4				3			
		学	英語集中教育:スピーキング I	1 · 2 · 3 · 4前	4			1		1		
			英語集中教育:スピーキングⅡ	1 · 2 · 3 · 4後	4			1		1		
			文化としての英語学習 I	1前		4						平成24年度開講した
			文化としての英語学習Ⅱ	1後		4						平成24年度開講した
			資格英語 I : TOEFL · TOEIC · IELTS特講	2 · 3 · 4前集	2				1			
			資格英語Ⅱ: TOEFL・TOEIC・IELTS特講	2 · 3 · 4後集	2				1			
			地球史から見る日本	1 · 2 · 3 · 4前後	2				1			
基			グローバルとローカル	1 · 2 · 3 · 4後	2			1				
碰			人という概念	1 · 2 · 3 · 4前	2			1				
教育			心理学的視点	1.2.3.4前後	2			1				
科			文化と自己	1・2・3・4後		4						
目			人格と人権	1・2・3・4後		4		1				
			日本人の美意識	1・2・3・4後		4						
			民主主義再発見:主権	1 • 2 • 3 • 4後		4		1				
		共	地球社会とヨーロッパのリーダーシップ	1・2・3・4前		4		1				
		通 科	文化の伝え方・伝わり方	1・2・3・4後		4		1				1
	1	科目	経営学入門I:ゲームからの生産管理	1・2・3・4前後		4			1			ĺ
	1	H	コンピューター入門	1.2.3.4前後		4			1			ĺ
			キャリア形成論	1.2.3.4前後	1	4	1	1	1			1
	1		国際関係論入門	1・2・3・4前後		4		1				ĺ
	1		文化心理学	1.2.3.4後	1	4	1	1	t			1
1 1			日本文化と自己形成	2・3・4前		-		-				
			地球社会の切り口:日本文化	2・3・4前		4 .		1	,			
			地球任会の切り口:日本文化 経済学入門 I:市場から学ぶ経済学			4			1			
				2・3・4前後		4			1			
			統計学入門	2 · 3 · 4前		4	l		1	Arte es area popular		
						単位数				等の配置		
分野	:	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	備考
					修	択	由	授	授	師	教	
			世界の中の日本文学:翻訳文学	1・2・3・4後		4				1		
			世界の中の日本文化:アニメーション	1 • 2 • 3 • 4前		4						
基 7#		特	世界の中の日本文化:日本の映画監督	1・2・3・4前		4						
碰教		別	現代日本の芸術論入門	1 • 2 • 3 • 4前後		4				1		
育		講		1 • 2 • 3 • 4前後		4				1		
科		price	現代日本文学との対話			-						
目		座	現代日本文学との対話 日本人の海劇性・古典と現代			4				1		
,		坐	日本人の演劇性:古典と現代	1・2・3・4後		4		1		1		
		坐	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題	1·2·3·4後 2·3·4前		4		1		1		
\vdash		座	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外就職のための実践講座	1·2·3·4後 2·3·4前 2·3·4後		4 4		1	1	1		
		座	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外就職のための実践講座 言語表現と自己形成	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前		4 4 4		1	1	1		
		性	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外就職のための実践講座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発	1·2·3·4後 2·3·4前 2·3·4後 2·3·4前 2·3·4前後		4 4 4 4				1		
		/性	日本人の演劇性: 古典と現代 これからの海外進出の課題 海外就職のための実践課座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4後		4 4 4 4		1	1	1		
		Æ A	日本人の演劇性: 古典と現代 これからの海外進出の課題 海外散職のための実践課座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前		4 4 4 4 4		1		1		
		A	日本人の演劇性: 古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識: 考える葦	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 46		4 4 4 4 4 4		1	1	1		
		A 文	日本人の演劇性: 古典と現代 これからの海外進出の課題 海外就職のための実践講座 言語表現と自己形成 個人史による自己形成 個人教現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識: 考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前		4 4 4 4 4		1	1	1		
		A 文 化	日本人の演劇性: 古典と現代 これからの海外進出の課題 海外就職のための実践講座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識: 考える葦 悲劇と現代人: シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間: シェイクスピアの人間観	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前		4 4 4 4 4 4 4		1	1			
		A .文化と自	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外就職のための実践課座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 3 · 4前		4 4 4 4 4 4 4 4		1	1 1	1		
		A ・文 化 と	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外散職のための実践課座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:ジェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:ジェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:日本の事例	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1	1	1		
		A .文化と自	日本人の演劇性: 古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践課座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識: 考える革 悲劇と現代人: シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間: シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成: 日本の事例 宗教と自己形成: アフリカの事例	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 46 3 · 46 3 · 46 3 · 46 3 · 46		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1	1 1			
		A .文化と自	日本人の演劇性: 古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識: 考える革 悲劇と現代人: シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間: シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成: 日本の事例 宗教と自己形成: 日本の事例 認知心理学入門	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 46 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1	1 1	1		
		A .文化と自	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外就職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1	1 1	1		
専	, ,	A .文化と自	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外就職のための実践課座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:日本の事例 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 3 · 4前 3 · 4前		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1	1 1	1		
門	自己	A .文化と自	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践講座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:日本の事例 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学、統計的アブローチ 民主主義再発見:法の精神	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 4前		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1	1 1	1		
門教	自己の	A .文化と自	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践講座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:日本の事例 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見:法の精神 民主主義再発見:歴史的概説	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 46 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 46 3 · 46 3 · 46 4 · 46 3 · 46 4 · 46 3 · 46 4 · 4		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1	1		
門教育	己の確	A .文化と自	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える革 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見: 歴史的概説 民主主義再発見: 比較研究	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1	1 1	1		
門教	己の	A .文化と自	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成: 日本の事例 宗教と自己形成: アフリカの事例 認知心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見: 歴史的概説 民主主義再発見: 比較研究 法と国家:秩序	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1	1 1	1		平成24年度開講
門教育科	己の確	A .文化と自	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える革 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見: 歴史的概説 民主主義再発見: 比較研究	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1	1		平成24年度開講し
門教育科	己の確	A .文化と自	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外散職のための実践課座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:比較研究 法と国家:秩序 法と国家:様序 法と国家:植民地の現実 科学の心	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1	1 1	1		
門教育科	己の確	A ·文化と自己 B ·	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:日本の事例 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:比較研究 法と国家:秩序	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 4 · 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1	1 1	1		
門教育科	己の確	A.文化と自己 B.価	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外散職のための実践課座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:比較研究 法と国家:秩序 法と国家:様序 法と国家:植民地の現実 科学の心	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 6 2 · 6 4		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1	1 1	1		
門教育科	己の確	A・文化と自己 B・価値	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践講座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現とと日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学入門 言語と認知 心理学、統計的アプローチ 民主主義再発見: 歴史的概説 民主主義再発見: 比較研究 法と国家: 秩序 法と国家: 稚民地の現実 科学の心 芸術という価値	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4後 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 4 2 · 3 · 4 4 · 6 2 · 7 · 7 · 7 · 7 · 7 · 7 · 7 · 7 · 7 ·		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1	1 1	1 1		
門教育科	己の確	A ·文化と自己 B ·価値の	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西歌文化の自意識:考える革 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:比較研究 法と国家: 植民地の現実 芸術と知り価値	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1	1 1	1 1		
門教育科	己の確	A・文化と自己 B・価値の創造	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:比較研究 法と国家:核民地の現実 科学の心 芸術という価値 構造と記号論 21世紀:ポストモダニズム後の世界	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1	1 1	1 1		平成24年度開講し
門教育科	己の確	A・文化と自己 B・価値の創	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外散職のための実践課座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学・統計的アプローチ 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:比較研究 法主主義再発見:比較研究 法と国家: 植民地の現実 科学の心 芸術という価値 構造と記号論 21世紀:ポストモダニズム後の世界 日本人とアジアの美学 日本語の精神	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1	1 1	1 1		平成24年度開講し
門教育科	己の確	A・文化と自己 B・価値の創造	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践講座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現とと日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学入門 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:比較研究 法と国家:秩序 法と国家:秩序 法と国家:秩序 対法と国家:秩序 対法と国家:秩序 対法と国家:本(本)、本(本)、本(本)、本(本)、本(本)、本(本)、本(本)、本(本)	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4 ini 2 · 4 ini 3 · 4 ini 3 · 4 ini 3 · 4 ini 2 · 3 · 4 ini 3 · 4 ini		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1	1 1		平成24年度開講し
門教育科	己の確	A・文化と自己 B・価値の創造	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:比較研究 法と国家:様民地の現実 科学の心 芸術という価値 構造と記号論 21世紀:ポストモダニズム後の世界 日本語の精神 日本人とアジアの宗教 日本人の宗教観	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 3 · 4 1 · 3 · 4 1 · 3 · 4 1 · 3 · 4 1 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 3 · 4 4 2 · 3 · 4 4 4 2 · 3 · 4 6 2 · 3 · 4 8 2 · 3 · 4 9 2 br>9 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1	1 1	1 1		平成24年度開講し 平成24年度開講し
門教育科	己の確	A・文化と自己 B・価値の創造	日本人の演劇性: 古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識: 考える葦 悲劇と現代人: シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間: シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成: 日本の事例 宗教と自己形成: 日本の事例 宗教と自己形成: 日本の事例 言語と認知 心理学: 統計的アプローチ 民主主義再発見: 比較研究 法と国家: 様民地の現実 科学の心 芸術という価値 構造と記号論 21世紀: ポストモダニズム後の世界 日本人とアジアの宗教 日本人とアジアの宗教 日本人とアジアの宗教 日本人とアジアの宗教 仏教・儒教・ヒンズー教	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 46 2 · 46 2 · 3 · 46 2 · 3 · 46 3 · 46 3 · 46 4 · 2 · 3 · 46 4 · 2 · 3 · 46 4 · 3 · 46 4 · 3 · 46 5 · 3 · 46 6 · 3 · 46 6 · 3 · 46 7 · 3 · 46 8 · 3 · 46 8 · 3 · 46 9 · 3 · 46 9 · 3 · 46 9 · 3 · 46 9 · 3 · 46 9 · 3 · 46 9 · 3 · 46		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1	1 1		平成24年度開講し 平成24年度開講し
門教育科	己の確	A・文化と自己 B・価値の創造	日本人の演劇性:古典と現代 これからの海外進出の課題 海外競職のための実践議座 言語表現と自己形成 個人史による自己開発 身体表現と日本人の自己形成 体の治療と心の癒し 西欧文化の自意識:考える葦 悲劇と現代人:シェイクスピアに学ぶもの 普遍的人間:シェイクスピアの人間観 アフリカ文化と自己形成 宗教と自己形成:アフリカの事例 認知心理学入門 言語と認知 心理学:統計的アプローチ 民主主義再発見:歴史的概説 民主主義再発見:比較研究 法と国家:様民地の現実 科学の心 芸術という価値 構造と記号論 21世紀:ポストモダニズム後の世界 日本語の精神 日本人とアジアの宗教 日本人の宗教観	1 · 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 4前 3 · 4前 3 · 4前 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4 1 · 3 · 4 1 · 3 · 4 1 · 3 · 4 1 · 3 · 4 1 · 3 · 4 2 · 3 · 4 1 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 2 · 3 · 4 3 · 4 3 · 4 4 2 · 3 · 4 4 4 2 · 3 · 4 6 2 · 3 · 4 8 2 · 3 · 4 9 2 br>9 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1	1 1		平成24年度開講し 平成24年度開講し 平成24年度開講し 平成24年度開講し

						単位数			専任教員	等の配置		
分野		区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	備考
					修	択	由	授	教 授	師	教	
			地球社会と中央アジア	2 • 3 • 4集中	RS-	4	Щ	1	1.0	Paula	45	
			地球社会とアメリカ	2・3・4前後		4		1				
			地球社会とオーストラリア	2・3・4前		4						
			東アジア交流史 I:中国・韓国・日本の政治	2・3・4前		2						
			東アジア交流史Ⅱ:中国・韓国・日本の文化	2・3・4後		2						
			21世紀地球社会の構図	2・3・4前		4						
		С	21世紀地球社会の実現性:移民	2・3・4前後		4						
		玉	女性と家族	2・3・4前		4			1			
		際	地球社会と東アジア	3・4後		4						
		関 係	地球社会とアフリカ:未開の烙印	3・4前		4				1		
	地	ح	地球社会とアフリカ:非西洋からの視点	3・4後		4			_	1		
	球	歴	地球社会と日本	3・4前		4			1			
THE .	社会	史	地球環境と日本西洋社会と日本	3・4後		4 2		1				
専門	会の		日本政治の構造	3・4前後		4						平成24年度開講した
教	IJ		日本外交の構造	3・4後 3・4前		4						十成24十段 州語 しね
育科	ダ		日本近代政治史	3・4後		4						
目	7		日本文明論	3・4後		2						平成24年度開講した
	シ		グローバルとローカル:観光	3・4前		4			1			T MAD T T SCHOOL O'S
	ップ		異文化間マネージメント	2・3・4前		4			<u> </u>			1
			日本型コミュニウーション:言語と社会	2 • 3 • 4前後		4				1		1
			地球社会の切り口:ハワイのアメリカ文化	2 · 3 · 4前後		4						
		D	地球社会の切り口:オーストラリア先住民	2・3・4後		4						平成24年度開講した
			東西文化交流:紅茶とコーヒーをめぐって	2 • 3 • 4前		2						
		通文	日本美術交流: 前近代まで	2・3・4前		2						
		化	日本美術交流:近代以降	2・3・4後		2						
		交	他者の観察:留学生のための人類学講座	3・4後		4			1			
		流	他者の観察:社会人類学概論	3・4後		4				1		
l												
			他者の発見	3・4前		4				1		
			イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史	3・4前		4				1		
						4 4						
			イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存	3·4前 3·4後	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	4 4 単位数	<u> </u>	Mi-		等の配置	114.	
分野		区分	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史	3・4前	必	4 4 単位数 選	自	教	准教	等の配置講	助	備考
分野		区分	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称	3・4前 3・4後 配当年次	必修	4 4 単位数 選 択	自由	教授	准	等の配置	助教	備考
分野		区分	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅲ:ゲームからの政策	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後		4 4 単位数 選 択			准 教授	等の配置講		備考
分野		区分	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学	3·4前 3·4後 配当年次 2·3·4後 2·3·4後		4 4 単位数 選 択 4		授	准教	等の配置講		備考
分野		区分	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎	3·4前 3·4後 配当年次 2·3·4後 2·3·4後 2·3·4前		4 4 単位数 選 択 4 4		授 1	准 教授	等の配置講		備考
分野			イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用	3·4前 3·4後 配当年次 2·3·4後 2·3·46 2·3·46		4 4 4 単位数 選 択 4 4 4		授	准 教授	等の配置講		備考
分野		区分	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス	3·4前 3·4後 配当年次 2·3·4後 2·3·4後 2·3·4前		4 4 単位数 選 択 4 4		授 1	准 教授 1	等の配置講		備考
分野			イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用	3 · 4前 3 · 4後 配当年次 2 · 3 · 4後 2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前		4 4 単位数 選 択 4 4 4 4		授 1	准 教授 1	等の配置講		備考
分野		E . Ľ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ: ゲームからの政策 経済学入門Ⅲ: 政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前		4 4 4 単位数 択 4 4 4 4 4		授 1 1	准 教授 1	等の配置講		備考
分野		E ・ビジネ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ: ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ: 政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論本時 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後		4 4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4		授 1 1	准 教授 1	等の配置講		備考
分野	地	E . Ľ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 2・3前後 3後		4 4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1	准 教授 1	等の配置講		備考
分野	地球	E ・ビジネ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ダームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ インターンシップ 英文企業会計実務	3·4前 3·4後 配当年次 2·3·4後 2·3·4前 2·3·4前 2·3·4前後 3·3後 3·4後		4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1	准 教授 1	等の配置講		備考
専	地球社	E ・ビジネ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論基礎 国際経営論を出 国際経営論を用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 清貴主義の比較文化論 日本の職場	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 2・3前後 36 3・4後 3・4後		4 4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1	准 教授 1	等の配置講		備考
専門	地球社会の	E ・ビジネ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ インターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の職場 日本の世事	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後		4 4 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1	准 教授 1	等の配置 講師		備考
専	地球社会のネ	E ・ビジネ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ インターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の職場 日本の職場 日本の世事 消費社会と日本の大衆文化	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前後 2・3・4前後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4		4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1	准教授 1 1	等の配置 講 師 1 1		備考
専門教育科	地球社会のネッ	E ・ビジネ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門II: ゲームからの政策 経済学入門II: 政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ インターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の世事 消費社会と日本の大衆文化 システム工学入門	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4前 3・4 4前 3・4 4前 3・4 4前 3・4 4前 3・4 4 3・4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1	准教授 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		備考
専門教育	地球社会のネ	E ・ビジネ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門II: ゲームからの政策 経済学入門II: 政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論は用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ インターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の仕事 消費社とと日本の大衆文化 システム工学入門 システム構築方法論	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4前後 2・3・4前後 3・4前後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4後 3・4前 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 3・4 4 4 3・4 4 4 4		4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		備考
専門教育科	地球社会のネットワー	E ・ビジネ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門Ⅱ:ゲームからの政策 経済学入門Ⅱ:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論基礎 国際経営論を問 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ インターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の職場 日本の職場 日本の職場 日本の世事 消費社会と日本の大衆文化 システム工学入門 システム構築方法論 情報科学特講	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 3・4後 3・4前 3・46後 3・4前 3・4前 3・4前 3・4前 3・4前		# 位数 選 択		授 1 1 1	准数授 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		備考
専門教育科	地球社会のネット	E ・ビジネ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門II: ゲームからの政策 経済学入門II: 政策から学ぶ経済学 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ インターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の仕事 消費社会と日本の大衆文化 システム工学入門 システム工等入門 システム工等入門	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・46 3・46 3・44前 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 2・3・44前 2・3・44前		4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1	准 教授 1 1 1 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		備考
専門教育科	地球社会のネットワー	E ・ビジネ	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門II: ゲームからの政策 経済学入門II: 政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の仕事 消費社会と日本の大衆文化 システム工学入門 ンステム工学入門 ンステム構築方法論 情報科学特講 インターネット・テクノロジー	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4後 2・3・46後 2・3・4前後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4後 3・4前 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前		4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1	准数授 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		
専門教育科	地球社会のネットワー	E . ビジネス	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門II: ゲームからの政策 経済学入門II: 政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の職場 日本の仕事 消費社会と日本の大衆文化 システム工学入門 システム構築方法論 情報科学特講 インターネットシステム工学 インターネット・テクノロジー Web進化論: ネット革命下のビジネスモデル	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4称 2・3・4前後 2・3・4前後 3・466 3・466 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・44前後 3・44前後 3・44前後 3・44前後 3・44前後 3・44前後 3・44前後 3・44前後 3・44前		4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1	准 教授 1 1 1 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		
専門教育科	地球社会のネットワー	E . ビジネス	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門II: ゲームからの政策 経済学入門II: 政策から学ぶ経済学 国際経営論は 国際経営論は 国際経営論は 国内インターンシップ オンターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の仕事 消費社会と日本の大衆文化 システム工学入門 システム構築方法論 情報科学特講 インターネットシステム工学 インターネット・テクノロジー Webデータベース: 分散データベースの理論と応用	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前後 2・3・4前後 3・4前後 3・4後		4 4 単位数 択 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1	准教授 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		
専門教育科	地球社会のネットワー	E . ビジネス	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門II:グームからの政策 経済学入門II:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論基礎 国際経営論をは 国内インターンシップ インターンシップ インターンシップ 東文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の仕事 消費社会と日本の大衆文化 システム【学入門 システム構築方法論 情報科学特講 インターネット・テクノロジー Web第一格論:ネット革命下のビジネスモデル Webデータベース:分散データベースの理論と応用 IT革命の本質	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・46後 2・3・4前後 2・3・4前後 3・4後後 3・46後 3・46後 3・466		基 単位数 択 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		授 1 1 1 1 1 1 1	准 教授 1 1 1 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		
専門教育科	地球社会のネットワー	E . ビジネス F	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門II:グームからの政策 経済学入門II:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ インターンシップ インターンシップ 有力を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4後 2・3・46後 2・3・4前後 3・4後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4後		# 位数 上 位数 		授 1 1 1	准教授 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		
専門教育科	地球社会のネットワー	E . ビジネス F	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門II:グームからの政策 経済学入門II:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ インターンシップ 英文企業会計実務 企業倫理と社会的責任 消費主義の比較文化論 日本の戦場 日本の戦場 日本の世事 消費社会と日本の大衆文化 システム工学入門 システム工学入門 システム工学入門 システム工学入門 システム工学入門 システム工学へフリロジー Teb進化論:ネット革命下のビジネスモデル Tebデータベース:分散データベースの理論と応用 IT革命の本質 「グリーン・エンジニアリング」21世紀の科学・技術 サイボーグの光と影	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4後 2・3・46後 3・4前後 3・4後前 3・4後前 3・4後前 3・4後前 3・46前 3・46前 3・46前 2・3・46前 2・3・46前 2・3・46前 2・3・46前		# 位数		授 1 1 1 1 1 1 1	准教授 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		備考 平成24年度開講した
専門教育科	地球社会のネットワー	E . ビジネス F	イスラム教とキリスト教の対立と共存の歴史 現代の宗教の対立と共存 授業科目の名称 経営学入門II:グームからの政策 経済学入門II:政策から学ぶ経済学 国際経営論基礎 国際経営論応用 コーポレート・ファイナンス 消費者としての女性 国内インターンシップ インターンシップ インターンシップ 有力を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	3・4前 3・4後 配当年次 2・3・4後 2・3・4後 2・3・46後 2・3・4前後 3・4後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4前後 3・4後		# 位数 上 位数 		授 1 1 1 1 1 1 1	准教授 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	等の配置 講 師 1 1 1		

					単位数			専任教員	等の配置		
分野	区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	備考
- 「レスタディーズ学部基礎教育科目	 	ヴィジュアルコミュニケーション入門 日本語文章表現法 Study Abroad : Academic II Study Abroad : Academic III Study Abroad : Community Service I Study Abroad : Community Service II Study Abroad : Community ServiceIII Study Abroad : Language I Study Abroad : Language II	2·3前後 3·4前後 1·2·3集 1·2·3集 1·2·3集 1·2·3集 1·2·3集 1·2·3集 1·2·3集		4 4 3 2 2 3 2 2 2 2 2				1 1		

						単位数			専任教員	等の配置		
グロ	分野	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	備考
- 1					修	択	由	授	授	師	教	
バルスタディーズ学部	専門教育科目	自己の確立	世界の食文化 ホスピタリティI ホスピタリティII ホスピタリティII コミュニケーション 通訳入門 翻訳入門	3 · 4前後 3 · 4前後 3 · 4前後 3 · 4前後 3 · 4前後 3 · 4前後 3 · 4前後		4 4 4 4 4 4		1				

グロ						単位数			専任教員	等の配置		
バ	分野	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	許	助	備考
ルス					修	択	由	授	教 授	師	教	
ヘタディー ズ学部	専門教育科目	1 71	地球資源 国際貢献 リーダーシップ	3・4前 3・4前 3・4前後		4 4 4		1 1 1				

グロ						単位数			専任教員	等の配置		
T.	分野	区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	許	助	備考
バル					修	択	由	授	授	師	教	
スタディーズ学部	専門教育科目	ヤワーカ	簿記 マーケティング 財務諸表分析 金融工学入門	3・4前後 3・4前後 3・4後 3・4前		4 4 4 4			1 1			

表2—6

成績評価基準 経営情報学部

セミナール科目	成績通知書			P			F	Z
一般講義科目	配分基準	(% 1)	5%以内	30%以内				
—— 	成績通知書		+V	V	B	Э	${f H}$	N
			合格				不合格	認定

	合否		◇ ☆	<u> </u>		不合格	
	評価の表示方法(b)						
部	評価の表示方法(a)	A+	A	В	C	F	Z
グローバルスタディーズ学部	点数区分	$90 \sim 100$ 点	学 68 ~ 08	一	学 69 ~ 09	0 ~ 59 点	認定

表2一7

修得単位状況(前年度実績)

	_		_		_	_
以上	%	0.0%	0.0%		5.5%	1.7%
51単位	人数	0	0	6	6	6
)単位	%	16.5%	16.5%	44.8%	44.8%	133 25.5%
$41 \sim 5($	人数	59	29	74	74	133
)単位	%	39.8%	39.8%	21.8%	21.8%	178 34.1%
$31 \sim 40$	人数	142	142	36	36	178
)単位	%	23.0%	23.0%	%6.7	7.9%	95 18.2%
$21 \sim 30$	人数	82	82	13	13	95
)単位	%	6.0%	6.0%	7.9%	7.9%	8.6%
$11 \sim 2($	人数	32	32	13	13	45
単位	%	7.0%	7.0%	7.9%		7.3%
$1 \sim 10$	人数	25		13	13	38
位	%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%
東0	人数	17	17	8	8	25
平成24年3月1日	現在の在籍者数	198	198	165	291	222
排	山	経営情報学部	経営情報学部計	グローバルス タディーズ 学部 ディース、学科	グローバルスタディーズ学部計	붙신
	************************************	0単位 1~10単位 11~20単位 21~30単位 31~40単位 41~50単位 51単位り 人数 % 人数 % 人数 % 人数 % 人数 人工 人工	部 学科 平成24年3月1日 0単位 1~10単位 11~20単位 21~30単位 31~40単位 41~50単位 51単位り 経営情報学部 357 17 4.8% 25 7.0% 32 9.0% 82 23.0% 142 39.8% 59 16.5% 0	部学科平成24年3月1日0単位1~10単位11~20単位21~30単位31~40単位41~50単位51単位経営情報学部現在の在籍者数人数%人数%人数%人数%人数経営情報学部357174.8%257.0%329.0%8223.0%14239.8%5916.5%0経営情報学部計357174.8%257.0%329.0%8223.0%14239.8%5916.5%0	\dot{z} 部平校24年3月1日0単位 $1\sim10$ 単位 $11\sim20$ 0単位 $21\sim30$ 単位 $31\sim40$ 単位 $41\sim50$ 単位 $41\sim50$ 単位経営情報学部独立の在籍者数人数%人数%人数%人数%人数%人数%人数経営情報学部357174.8%257.0%329.0%8223.0%14239.8%5916.5%0経営情報学部計357174.8%257.0%329.0%8223.0%14239.8%5916.5%0本学7.9~17.9%137.9%137.9%137.9%14.8%9	产 部 学 科 平成24年3月1日 〇単位 $1\sim10$ 単位 $11\sim20$ 単位 $21\sim30$ 単位 $31\sim40$ 単位 $41\sim50$ 単位 51 単位 51 里位 経営情報学部 現在の在籍者数 人数 % 人数 少数 人工 人工

<u>1</u> 1	9,	55.9%	91.8%	73.0%	%8.0	%8.0	55 1%
51単位以上					1 (1 (
51〕	人数	113	168	281			989
自位	%	10.4%	5.5%	8.1%	29.8%	29.8%	68 13.3%
41~50単位	人数	21	10	31	37	37	89
	%	9.4%	2.2%	6.0%	35.5%	35.5%	3 1%
31~40単位	人数	19	4	23	44	44	67 13 1%
	%	10.4%	0.5%	5.7%	18 14.5%	18 14.5%	7 8%
21~30単位	人数	21	1	22	18	18	40
单位	%	5.9%	0.0%	3.1%	16 12.9%	12.9%	5 5%
11~20単位	人数	12	0	12	16	16	86
红	%	4.9%	0.0%	4.2%	4.8%	4.8%	4.3%
1~10単位	人数	16	0	16	9	9	66
1~1	%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%	1 0%
0単位	人数	0	0	0	5	2	ĸ
平成24年3月1日	現在の在籍者数	202	183	385	127	127	512
海 和 平成:		経営情報学科	マネジメントデザイン学科	学部計	11-1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/	-7、学部計	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ם	\vdash	報学部 🕬	経営情報学部計	グローバルス タディーズ 学ゴィーズ 学部 ディース、学科	提場	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \

「今十八」															
京	平成24年3月1日	0単位	f位	$1\sim10$	~10単位	$11 \sim 20$ 単位	0単位	$21\sim30$ 単位	0単位	31~40単位)単位	41~50単位)単位	51単位以	汉上
÷ ====================================	現在の在籍者数	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数一	%	人数	%
経営情 経営情報学科	175	0	%0.0	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%	1	9.0	3	1.7%	168	%0.96
報学部 マネジメントデザイン学科	4 165	0	%0.0	0	%0.0	0	0.0%	0	%0.0	1	%9.0	3	1.8%	161	%9.76
経営情報学部計	340	0	%0.0	0	%0.0	0	0.0%	0	%0.0	2	9.0	9	1.8%	329	%8.96
グローバルス タディーズ 学部 ディーズ、学科	128	8	%8'9	73	3.9%	12	9.4%	25	19.5%	47	36.7%	31	24.2%	0	%0.0
グローバルスタディーズ学部計	128	8	6.3%	ಸ೦	3.9%	12	9.4%	25	19.5%	47	36.7%	31	24.2%	0	%0.0
수	468	8	1.7%	5	1.1%	12	2.6%	25	5.3%	49	10.5%	37	7.9%	329	70.3%
	平成24年3月1日	恵()	0単位	$1 \sim 10$	~10単位	11~20単位	0単位	21~30単位	り単位	31~40単位)単位	41~50単位)単位	51単位以	TX F
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在の在籍者数	人数。	%	人数	%	人数一	%	人数一	%	人数一	1%	人数一	%	人数一	%
経営情 経営情報学科	166	0	%0.0	0	%0.0	0	0.0%	0	%0.0	0	0.0%	0	%0.0	166	100.0%
報学部	154	0	%0.0	0	%0.0	0	0.0%	0	%0.0	0	%0.0	0	%0.0	154	100.0%
経営情報学部計	320	0	%0.0	0	%0.0	0	0.0%	0	%0.0	0	0.0%	0	%0.0	320	100.0%
グローバルス タディーズ 学部 ディーズ、学科	161	17	10.6%	44	27.3%	61	37.9%	18	11.2%	13	8.1%	8	5.0%	0	%0.0
グローバルスタディーズ学部計	161	17	10.6%	44	27.3%	61	37.9%	18	11.2%	13	8.1%	8	5.0%	0	0.0%
<u>√</u>	481	17	3.5%	44	9.1%	61	12.7%	18	3.7%	13	2.7%	8	1.7%	320	86.5%

表2-8

年間履修登録単位数の上限と進級、卒業(修了)要件(単位数)

経営情報学部

属)以上の者は、4年次へ進級できる。 ただし、必修14単位、基本科目群の選 択必修24単位を修得していること。 在学期間が1年未満の者は2年次に進級できない いと3年次~は進級できない ・1年次終了時修得単位、24単位以上 の者は、3年次の進級要件がない ·1年次終了時修得単位、24単位未満 総単位数124単位(ホームゼミ所属)/134単位(ホームゼミ未所属)を修得する必要がある。また、総単位数以外の全ての要件を満たす必要がある。 の者は50単位(ホームゼミ所属)/56単 位(ホームゼミ未所属)を修得していな ムゼミ所属)/98単位(ホームゼミ未所 •3年次終了時修得単位88単位(赤 備売 48 5252マネジメントアチイン学科 上限なし 124/134経営情報学部 99/0986/88 48 5252経営情報学科 上限なし 124/134 99/0986/88 学部・学学 1年次 2年次 3年次 4年次 1年次 2年次 3年次 狹 # 年間履修登録単位数の上限 進級の要件(単位数) 卒業の要件(単位数)

年間履修登録単位数の上限と進級、卒業(修了)要件(単位数)

		ı							1	
度入学生)	グローバルスタディーズ学部	グローバルスタディーズ学科	94単位	48単位	48単位	履修制限なし	進級要件設定なし	進級要件設定なし	進級要件設定なし	下記参照
(平成19·20年度入学生)	参照・学科	· · · · · · · · · · · · · ·	1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	3年次	\
グローバルスタディーズ学部				年間層修發録単位粉の上限	十同核同母等中国教学工资			進級の要件(単位数)		卒業の要件(単位数)

卒業要件単位数表	单位数表				
科目群	科目区分		必修	選択	備考
基礎教育 科目	型 型	英語集中 教育	132		
		資格英語	1,4		
	并通	必修	ž.		
	中	選択		128	
	111111111111111111111111111111111111111			72	
専門教育	所属区分			40 %	※文化としての英語学習8単位を含め
本目	所属しない			各8	ることができる。
	区分			計16	
	111111111			26	
	수計			128	

年間履修登録単位数の上限と進級、卒業(修了)要件(単位数)

(平成21年度以降入学生)	グローバルスタディーズ学部	小部・小学	グローバルスタディーズ学科	年 汝 /	1年次 52単位	2年次 44単位	3年次 44単位	4年次 履修制限なし	1年次 進級要件設定なし	2年次 進級要件設定なし	3年次 進級要件設定なし	下記参照
グローバルスタディーズ学部	<u>/</u>					在 間 医 体 發 母 苗 位 素 心 正 個	十三個同句数平可数の上文			進級の要件(単位数)		卒業の要件(単位数)

j												
	備考	Z A KEN Poorty 1 X	※I ADLOAG (認めら れる単位は、12単位		※2 指定された日本	語科目で認められる	単位は8単位まで。					
	選択					$28 \times 1 \times 2$		40 %	各8	計16		
	選択必修				8,		72				26	128
	秋原	78,		7 ,								
		英語集中	教育	資格英語	選択必修	選択			(
单位数表	科目区分	去異			并通	中国	111111111111111111111111111111111111111	所属区分	所属しない	区分	111111111111111111111111111111111111111	古 干
卒業要件単位数表	科目群	基礎教育	英田					専門教育	本田			

表2-9

就職相談室等の利用状況

夕轶	レガジレ挙	開室	日数	開冷時間	年	年間相談件数	K	師
	ベンソン教	週当たり	年間	州王时间	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
[SGS]キャリア支援課	2	9	250	$9:00 \sim 17:30$	510	850		1020 職員2名
[SMIS]キャリア支援課	4	9	250	$9:00 \sim 17:30$	1300	1800		2800 職員3名、相談員1名

学部、キャンパスごとに分かれている場合は、おのおのの学部、キャンパスごとに記載すること。

年間相談件数は延べ数を記載すること。 スタッフの種類(教員、職員等)を備考欄に記載すること。または、欄外に図表等を示してもよい。 $\Theta \otimes \Theta$

就職の状況 (過去3年間) 表2-10

			平成21年度	11.2				平成22年度					平成23年度		
学部 学科	卒業者数(人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
グローバルスタ ディーズ学科 ディーズ学科	£					54	41	39	95.1%	280	133	06	84	93.3%	009
グローバルスタディーズ学部計	+					54	41	39	95.1%	280	133	06	84	93.3%	009
経営情報	180	227	213	93.8%	2834	234	167	153	91.6%	3514	285	217	201	%9'36	4347
子部・デザイン学科						Ì							1		
経営情報学部計	280	227	213	93.8%	2834	234	167	153	91.6%	3514	285	217	201	92.6%	4347
√□	280	227	213	93.8%	2834	288	208	192	92.3%	3794	418	307	285	92.8%	4947

就職率は就職希望者に対し、実際に就職した就職者の割合を記載すること。 学部のみについて記載すること。(研究科、通信教育ともに記載不要) Θ

ズムー11 卒業後の進路先の状況(前年度実績)

		経営情報学部	報字部	ズ学部	部
		3	(%)	人数(人)	(%)
1	農業、林業				
鎌	漁業				
位海	鉱業、採石業、 砂利採取業				
曹	建設業	8	3.4%	ဂ	2.3%
轍	製造業	22	9.4%	11	8.3%
軍教	電気・ガス・ 熱供給・水道業				
丰	情報通信業	31	13.2%	6	6.8%
爋	運輸業、郵便業	5	2.1%	4	3.0%
更	卸売・小売業	22	9.4%	25	18.8%
邻	金融・保険業	11	4.7%	4	3.0%
就職 不物	不動産業、 物品賃貸業			1	%8''0
沙 德	学術研究、専門・技 術サービス業			9	4.5%
価製	宿泊業、 飲食サービス業	13	5.6%	9	3.8%
生業	生活関連サービス 業、娯楽業	2	0.9%	9	4.5%
教	教育、学習支援業	1	0.4%	2	1.5%
困	医療、福祉	1	0.4%		
黎	複合サービス事業			3	2.3%
N	その他サービス業	3	1.3%	3	2.3%
$\langle \langle \rangle$	公務				
긕	上記以外	34	14.5%		
	就職者合計	153	65.4%	84	63.2%
巨	大学院				
新 新 新	他大学院	4	1.7%	1	0.8%
	大学学部			1	0.8%
量	專門学校·留学等			22	16.5%
	進学者合計	4	1.7%	24	18.0%
その色無	無業者・未定者	73	31.2%	25	18.8%
	広業者合計	934	100 0%	199	100.007

表2-12

学生相談室、医務室等の利用状況

経営情報学部									
A 轻	スタッ	スタッフ数	国室 開	室日数	目令时間	年	年間相談件数	' χ	年
中心	専任	非常勤	週当たり	年間	用工作用	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
カウンセリングルーム		1	1	43	$9:00 \sim 16:30$	100	71	68	
グローバルスタディーズ学部	学部								
タ発	スタッ	スタッフ数	開室	室日数	目分時間	年	年間相談件数	女	供
中心	専任	非常勤	週当たり	年間	用手匠口	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
学生相談室	-	1	1	34	$12:00 \sim 17:30$	78	101	111	臨床心理士
保健室	1	-	2	242	$8:50 \sim 17:35$	604	492	501	看護師(職員)

表2-13 大学独自の奨学金給付,貸与状況(授業料免除制度)(前年度実績)

経営情報学部

			1	1. 11. 41.	1 100 10 100 000	1	. 111 2. 2. 2	并生
奨学金の名称	学内・学外の門	給付•貸与 の別	文話と参手を手手を	在	仕精子生数に対する比率	月後又和総額	I作めたりの 月額支給額	m4 (授業料免除制度がある場合は、
	57,03		(a)	(p)	a/b*100	(c)	c/a	その基準を記載すること。)
成績優秀者奨学金(春学期)	沙	給付	58人	1,394人	4.16	4.16 633,333円	10,920円	各学期の成績上位者について支給する。区分1⇒該当学期分の 長葉的 区分2⇒50,000円 いま)今格時に選定され奨学金を支給されている者及び、支給 当当日に在籍していない者は対像外とする。 下、教職に関する授業科目を除く4科目以上を履修していて評定 すなが32以上の者とする。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
成績優秀者奨学金(秋学期)	孙	給付	58人	1,394人	4.16	4.16 633,333円	10,920円	各学期の成績上位者について支給する。区分1⇒該当学期分の 接業料 区分3⇒50,000円 日当日ご作癖に選定され奨学金を支給されている者及び、支給 日当日ご作癖にとびない者は対象外とする。 下、教職に関する長業科目を除く4科目以上を履修していて評定 子が第に関する長業科目を除く4科目以上を履修していて評定 代報数名が対象となった場合は、解定平均最上位の者とする。 は、理定が32以上の者とする。 は、理定が32以上の者とする。 とする。 上と、奨学金は、区分1の定員を慰える人数分については区分2 の支援構造が近、4数点を切り捨てる。 できた、場合は、1・数点を切り捨てる。 「区分2の奨学生候補者数は、教職に関する授業科目を除く4科 目以上を履修している者とし、区分1と件せて各学期20名以内とする。
特待生奨学金経営情報学部区分A	华内	給付	1			80,000	80,000	80,000 経営情報学部区分A:年額96万円
特待生奨学金経営情報学部区分B	学内	給付	2			58,333	29,167	経営情報学部区分B:年額35万円
特待生奨学金経営情報学部区分C	学内	給付	1			16,666	16,667	経営情報学部区分C:年額20万円
海外留学奨学金(区分1)	学内		0	0	0			業成績が優秀で人物及び健康ともに優
海外留学奨学金(区分2)	学内		1	1	100	300,000		れ他の模範になり、将来グローバルな 活躍が期待でき、海外留学及び海外で
海外留学奨学金(区分3)	学内		0	0	0			のインターンシップを希望していること
私費外国人留学生奨学金	学内		2	3	67	200,000		学業成績が優秀で人物及び健康と もに優れ他の模範になり、将来グ ローバルな活躍が期待できる者。

グローバルスタディーズ学部	FF3							
奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与 の別	支給対象 学生数 (a)	在籍学生 総数 (b)	在籍学生数に 対する比率 a/b*100	月額支給 総額 (c)	1 件あたりの 月額支給額 c/a	備考 (授業料免除制度がある場合は、 その基準を記載すること。)
成績優秀者奨学金(区分1)	学内	給付	3	585	0.5	225,000	75,000	
成績優秀者奨学金(区分1)	华内	給付	1	585	0.2	52,500	52,500	私費外国人留学生授業料減免対象者
成績優秀者奨学金(区分2)	学内	給付	22	585	3.8	183,326	8,333	
特待生奨学金グローバルスタディーズ学部区分A	学内	給付	1			80,000	80,000	80,000 /シローバルスタディーズ学部区分A:年額96万円
特待生奨学金グローバルスタディーズ学部区分B	学内	給付	3			112,500	37,500	37,500 /ブローバルスタディースデ学部区分B:年額45万円
特待生奨学金グローバルスタディーズ学部区分C	学内	給付	8			133,333	16,667	16,667 グローバルスタディーズ学部区分C:年額20万円
留学生授業料減免	补	給付	9	582	1.03	1,485,000	¥247,500	授業料の30パーセントを減免する (1セメスター 13.5万円×2 = 年間27 万円) 27万円×5名 + 13.5万円×1名
海外留学獎学金 (短期)	华内	給付	12	582	2.06	1,150,000	¥95,833	¥95,833 10万円×11名+5万円×1名
海外留学奨学金 (インターンシップ)	学内	給付	2	582	0.34	200,000	¥100,000	¥100,000 10万円×2名
海外留学奨学金 (1年・アカデミック) The Outstanding Academic Achievement Scholarship	小学	給付	4	582	0.69	3,200,000	来800,000	¥800,000 (TOEIC 750 / GPA 2.8)
海外留学奨学金 (1年・アカデミック/語学) The Academic Excellence Scholarship	学内	給付	1	582	0.17	400,000	¥400,000	¥400,000 (TOEIC 650 / GPA 2.7)
海外留学奨学金 (1セメスター・アカデミック /語学) The Academic Achievement Scholarship	松	給付	လ	582	0.52	600,000	¥200,000	¥200,000 (TOEIC 450 / GPA 2.5)

表2-14 学生の課外活動への支援状況(前年度実績)

経営情報学部

		活動資金支援	泛		その他口
	件数	金額	1件あたりの金額	件数	支援の方法を具体的に記載
ボランティア活動	4	40,000円	10,000円	4	1件につき、10,000円を支給し、活動費の補助とした。
ゼミナール	12	572,917円	最大50,000円	12	12 1 プロジェクトに当たり、最大 $50,000$ 円を支給し、活動費の補助とした。
サークル活動支援	19	3,837,659	201,983		
学園祭実行委員会支援	1	6,000,000	6,000,000		

グローバルスタディーズ学部

dH f · · · · · · · · · · · ·	L				
		活動資金支援	援		その他口
	件数	金額	1件あたりの金額	件数	支援の方法を具体的に記載
サークル活動	18	508,279	28,238		領収書による現金支給または、銀行振込代行
ボランティア活動	15	150,000	10,000		現金支給⇔受領書
留学補助 (携帯・海外旅行保険加入)	50	890,000	17,800		
海外インターンシップ補助 (携帯・海外旅行保険)	4	65,000	16,250		
海外ボランティア活動補助 (ザイオンズクラブ/ バングラ ディシュ) (海外旅行保険)	8	56,000	7,000		
海外ボランティア活動(台湾)補助 (携帯・海外旅行保険加入)	5	50,000	10,000		

表2-15

専任教員の学部、研究科ごとの年齢別の構成

[学部]

70	24	100.0%	11	100.0%					35	100.0%	31歳~35歳 26歳~30歳 計 計	8	100.0%	6	100.0%	9	100.0%			23	100.0%
DOMA TOMA OTMA DOMA	ಣ	12.5%	20	45.5%					00	22.9%	36歳~40歳 3	1	12.5%	2	22.2%	1	16.7%			4	17.4%
TIME TOWN	23	8.3%	2	18.2%					4	11.4%	41歳~45歳				22.2%	4	%2.99			9	26.1%
46版~90版	23	8.3%	2	18.2%					4	11.4%	46歳~50歳	1	12.5%		11.1%					2	8.7%
51版~55版	9	25.0%	2	18.2%					8	22.9%	51歳~55歳	1	12.5%	8	33.3%	1	16.7%			23	21.7%
56成~60成	ಬ	20.8%							9	14.3%	26歳~60歳	1	12.5%	1	11.1%					2	8.7%
61歳~65歳	ಣ	12.5%							e	8.6%	61歳~65歳	4	20.0%							4	17.4%
66歳~70歳	ಣ	12.5%							3	8.6%	66歳~70歳										
71歳以上											71歳以上										
職位		(%)	准教授 (人)	(%)	講師 (人)	(%)	助教 (人)	(%)	3	(%)	職位	教授 (人)	(%)	准教授	(%)	講師	(%)	助教 (人)	(%)	3	(%)
学部				经非重量的数					-1- 11111111	111111111111111111111111111111111111111	学部			MI NIN	ルド・ドル	- A M	ì			111111111111111111111111111111111111111	111111111111111111111111111111111111111

11111111		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
66歳~70歳 61歳~65歳 56歳~60歳 51歳~55歳 46歳~50歳 41歳~45歳 86歳~40歳 31歳~35歳 26歳~30談										
26歳										
~35歳										
31歳										
~40歳										
36歲~										
~45歳										
41歳~										
-50歳										
46歳~										
55歳										
51歳~										
30歳ほ										
6歳~										
55歳 5					_					
1歳~(
0歳 6										
3歲~7										
以上 66										
71歳以										
1. 1	3	(%)	3	(%)	3	(%)	3	(%)		
職位	教授		准教授		講師		助教		3	(%)
研究科				経営情報学研			<u> </u>	•	111111111111111111111111111111111111111	111111111111111111111111111111111111111

111111111111111111111111111111111111111		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
歳~30歳										
~35歳 56										
g 31歳′										
36歳~40歳										
歳~45歳										
歳~50歳 4.										
《~55歳 46										
50歳 51歳										
26歳~(
31歳~65歳										
5歳~70歳 (
71歳以上 66歳~70歳 61歳~65歳 56歳~60歳 51歳~55歳 46歳~50歳 41歳~45歳 36歳~40歳 31歳~35歳 26歳~30歳										
	3	(%)	3	(%)	3	(%)	3	(%)		
職位	教授		准教授		講師		助教		3	(%)
学部・研究科				全学部·					111111111111111111111111111111111111111	111111111111111111111111111111111111111

専任教員について、学部・研究科ごとに作成すること。 ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学で行っている場合は、その教員数を学部から除き、【教養教育担当者】の表 を作成すること。 Θ

② 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記載すること。

表2-16 学部の専任教員の1週当たりの担当授業時間数(最高、最低、平均授業時間数)

	教 備 考		1授業時間 90分						1授業時間 90分		-	
	舶						助					
	講						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	L	9	6.5		
	准教授	10	3.5	6.84			准教授	8	9	6.5		
34人)	教授	14	3	7.04			数	8	9	6.5		
経営情報学部(教員	事	最低	平数	責任授業時間数	ゲローバルスタディーズ学部		自	最低	平 数		事 了 四 来 出 報

表2-17 学部、学科の開設授業科目における専兼比率

経本科目 兼任担当科目版(a) 5.33 21.97 経済科目 兼任担当科目版(a) 0.67 6.03 基礎科目 兼任担当科目版(a) 0 0 事業化等 (a/(4+b)^*100) 0 0 事業化量科目版(b) 0 0 0 事業化量科目版(b) 0 0 0 事業化量等科目数(b) 0 3.9 事業化量等科目数(b) 0 3.9 事業化量等科目数(b) 0 3.9 事業化量等科目数(b) 0 0 事業化量等科目数(b) 0 0 事業化量等科目数(c) 0 0 事業計算 0 0 0 事業計算所(c) 0 0 0 事業計算所(c) 0 0 0 事業社当科目数(c) 0 0 0 事業分別 第任担当科目数(c) 0 0 事業計算所(c) 0 0 0 (a/(a+b)*100) 0 0 0 (a/(a+b)*100) 0 0 0	学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
基本科目 兼任担当科目版(b) 0.67 6.03 基礎科目 (a/(a+b)*100) 0 0 事任担当科目版(a) 0 0 0 事任担当科目版(b) 0 0 0 事任担当科目版(b) 0 39 事任担当科目版(b) 0 39 事任担当科目版(b) 0 39 (a/(a+b)*100) 0 39 (a/(a+b)*100) 0 39 (a/(a+b)*100) 0 0 0 事任担当科目版(b) 0 0 0 事任担当科目版(b) 0 0 0 基本科目 兼任担当科目版(b) 0 0 0 基本科目 兼任担当科目版(b) 0 0 0 事任担当科目版(b) 0 0 0 0 專任担当科目版(b) 0 0 0 0 專任担当科目版(b) 0 0 0 0 專任担当科目版(b) 0 0 0 0 專者和書科目報(b) 0 0 0 0 (a/(a+b)*100) 0 0 0 <td></td> <td></td> <td>専任担当科目数(a)</td> <td>5.33</td> <td>21.97</td> <td>29.3</td>			専任担当科目数(a)	5.33	21.97	29.3
基礎科目 (a/d=h)*100) 88.83 78.46 基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 (a/d=h)*100) 0 0 0 (a/d=h)*100) 0 39 (a/d=h)*100) 0 0		基本科目	兼任担当科目数(b)	29.0	6.03	6.7
基礎科目			専兼比率 (a/(a+b)*100)	88.83	78.46	81.39
基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 中国科目 (a/(a+b)*100) 0 39 中国科目 兼任担当科目数(a) 0 39 中国科目 兼任担当科目数(b) 0 5 (a/(a+b)*100) 0 0 0 (a/(a+b)*100) 0 0 0 (a/(a+b)*100) 0 0 0 (a/(a+b)*100) 0 0 0 (a/(a+b)*100) 6.33 21.97 (a/(a+b)*100) 0 0 0 (a/(a+b)*100) 0 </td <td></td> <td></td> <td>專任担当科目数(a)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td>			專任担当科目数(a)	0	0	20
専権任当科目数(a) 0 0 専任担当科目数(a) 0 39 専任担当科目数(b) 0 5 (a(a+b)*100) 0 88.64 (a(a+b)*100) 1 0 (a(a+b)*100) 0 0 事任担当科目数(a) 0 0 事任担当科目数(b) 0 0 事任担当科目数(b) 0 0 (a(a+b)*100) 0 0		基礎科目	兼任担当科目数(b)	0	0	11
専門科目 兼任担当科目数(a) 0 39 専門科目 兼任担当科目数(b) 0 5 (a/(a+b)*100) 1 0 0 (a/(a+b)*100) 100 0 0 (a/(a+b)*100) 100 0 0 (a/(a+b)*100) 5.33 21.97 基本科目 兼任担当科目数(a) 0.67 6.03 基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 专任担当科目数(a) 0 0 0 专任担当科目数(a) 0 0 0 专任担当科目数(a) 0 0 0 专任担当科目数(a) 0 0 0 专任担当科目数(b) 0 0 0 专任担当科目数(b) 0 0 0 专任担当科目数(b) 0 0 0 (a/(a+b)*100) 1 0 0 专任担当科目数(b) 0 0 0 (a/(a+b)*100) 0 0 0	X 告悔 翻 停 和.		専兼比率 (a/(a+b)*100)	0	0	64.51
専門科目 兼任担当科目数(b) 0 88.64 (a/(a+b)*100) 0 88.64 (a/(a+b)*100) 1 0 (a/(a+b)*100) 100 0 (a/(a+b)*100) 5.33 21.97 基本科目 兼任担当科目数(a) 0.67 6.03 基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 專任担当科目数(b) 0 0 0 專任担当科目数(a) 0 0 0 專任担当科目数(b) 0 64.51 0 (a/(a+b)*100) 1 0 0 (a/(a+b)*100) 1 0 0 (a/(a+b)*100) 0 0 0			専任担当科目数(a)	0	39	76.5
構作担当科目数(a) 88.64 有任担当科目数(a) 1 0 有程担当科目数(b) 0 0 基本科目 兼任担当科目数(b) 0.67 6.03 基本科目 兼任担当科目数(b) 0 0 基本科目 兼任担当科目数(b) 0 0 基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 专任担当科目数(c) 0 0 0 专任担当科目数(d) 0 64.51 专任担当科目数(d) 0 0 专任和当科目数(d) 0 0 专任和当科目数(d) 0 0 专任和当科目数(d) 0 0 专任和当和目数(d) 0 0 专任和当和目录(d) 0 0 专任和当和目录(d) 0 0 专任和当和目录(d) 0 0 专人(d		專門科目	兼任担当科目数(b)	0	5	40.5
演習科目 事任担当科目数(a) 1 0 (a/(a+b)*100) 100 0 (a/(a+b)*100) 5.33 21.97 基本科目 兼任担当科目数(a) 0.67 6.03 基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 78.46 基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 專任担当科目数(b) 0 0 0 專任相当科目数(b) 0 0 0 專任相当科目数(b) 0 0 0 專者和当科目報(b) 0 0 0			専兼比率 (a/(a+b)*100)	0	88.64	65.38
演習科目 兼任担当科目数(b) 0 0 (a/(a+b)*100) 100 0 (a/(a+b)*100) 5.33 21.97 基本科目 兼任担当科目数(b) 0.67 6.03 基本科目 兼任担当科目数(b) 0 0 基礎科目 兼任担当科目数(c) 0 0 專任担当科目数(c) 0 0 專任担当科目数(d) 0 0 專任担当科目数(d) 0 0 專任担当科目数(d) 0 0 專任和当科目数(d) 0 0 專任和当科目数(d) 0 0			専任担当科目数(a)	1	0	20.64
專籍比率 100 0 專任担当科目数(a) 5.33 21.97 基本科目 兼任担当科目数(b) 0.67 6.03 基本科目 兼任担当科目数(b) 0 0 基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 專任担当科目数(b) 0 0 0 專作担当科目数(b) 0 0 0 專作担当科目数(b) 0 0 0 專作任当科目数(b) 0 0 0 專作任当科目数(c) 0 64.51 專作任当科目数(b) 0 0 0 專作任当科目数(c) 0 0 0 專作任当科目数(c) 0 0 0 專作任当科目数(c) 0 0 0 專作任当科目数(c) 0 0 0 專作任当科目数(b) 0 0 0		演習科目	兼任担当科目数(b)	0	0	38.36
基本科目 兼任担当科目数(a) 5.33 21.97 基本科目 兼任担当科目数(b) 0.67 6.03 基礎科目 兼任担当科目数(a) 0 0 基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 專用化当本目数(b) 0 0 專任担当科目数(b) 0 0 專任担当科目数(b) 0 0 專任担当科目数(b) 0 64.51 專任担当科目数(c) 0 64.51 專任担当科目数(b) 0 0 廣田等日報(b) 0 0 東任担当科目数(c) 0 0 東任担当科目数(b) 0 0 東任担当科目数(b) 0 0 東在担当科目数(b) 0 0 東在地当科目数(b) 0 0 東代日当科目数(b) 0 0			専兼比率 (a/(a+b)*100)	100	0	34.98
基本科目 兼任担当科目数(b) 0.67 6.03 專作担当科目数(b) 88.83 78.46 專作担当科目数(a) 0 0 基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 專作担当科目数(a) 0 0 專作担当科目数(a) 0 20 專作担当科目数(b) 0 20 專作担当科目数(a) 0 11 專作担当科目数(a) 1 0 衛習科目 兼任担当科目数(b) 0 64.51 專作担当科目数(b) 0 0 0 衛習科目 兼任担当科目数(b) 0 0 東任担当科目数(b) 0 0 0			專任担当科目数(a)	5.33	21.97	29.3
専兼比率 (a/(a+b)*100) 88.83 78.46 基礎科目 (a/(a+b)*100) 0 0 基礎科目 (a/(a+b)*100) 0 0 専門科目 (a/(a+b)*100) 0 0 (a/(a+b)*100) 0 64.51 (a/(a+b)*100) 0 64.51 (a/(a+b)*100) 0 0 (a/(a+b)*100) 0 0		基本科目	兼任担当科目数(b)	79.0	6.03	6.7
基礎科目 華任担当科目数(a) 0 0 專問科目 (a/(a+b)*100) 0 0 專問科目 兼任担当科目数(a) 0 0 專問科目 兼任担当科目数(b) 0 0 演習科目 兼任担当科目数(b) 0 64.51 廣習科目 兼任担当科目数(b) 0 0 專業比率 100 0 0 專業比率 100 0 0 (a/(a+b)*100) 100 0 0			専兼比率 (a/(a+b)*100)	88.83	78.46	81.39
基礎科目 兼任担当科目数(b) 0 0 專用科目 (a/(a+b)*100) 0 0 專門科目 兼任担当科目数(b) 0 11 專用科目 (a/(a+b)*100) 0 64.51 演習科目 兼任担当科目数(b) 0 0 專用任理当科目数(b) 0 0 專用比率 0 0 專用比率 0 0 專用比率 0 0 專用比率 0 0 (a/(a+b)*100) 100 0			専任担当科目数(a)	0	0	20
専兼比率 (a/(a+b)*100) 0 0 専任担当科目数(a) 0 20 専門科目 兼任担当科目数(b) 0 11 専権と担当科目数(a) 0 64.51 演習科目 兼任担当科目数(b) 0 0 (a/(a+b)*100) 100 0 (a/(a+b)*100) 100 0		基礎科目	兼任担当科目数(b)	0	0	11
専門科目 兼任担当科目数(a) 0 20 専門科目 兼任担当科目数(b) 0 11 事業化率 0 64.51 専任担当科目数(a) 1 0 演習科目 兼任担当科目数(b) 0 0 事業比率 100 0 (a/(a+b)*100) 100 0	マネジメントデザイ		専兼比率 (a/(a+b)*100)	0	0	64.51
兼任担当科目数(b) 0 11 專業比率 (a/(a+b)*100) 0 64.51 專任担当科目数(a) 1 0 專樣担当科目数(b) 0 0 專業比率 (a/(a+b)*100) 100 0	なかく		專任担当科目数(a)	0	20	70.5
専兼比率 の 64.51 ($a/(a+b)^*100$) 1 0 専任担当科目数(a) 1 0 事任担当科目数(b) 0 0 ($a/(a+b)^*100$) 100 0		專門科目	兼任担当科目数(b)	0	11	44.5
専任担当科目数(a) 1 0 兼任担当科目数(b) 0 0 專業比率 (a/(a+b)*100) 100 0			専兼比率 (a/(a+b)*100)	0	64.51	55.79
兼任担当科目数(b) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			專任担当科目数(a)	1	0	20.64
100 0		演習科目	兼任担当科目数(b)	0	0	38.36
			専兼比率 (a/(a+b)*100)	100		34.98

65.913.5 33.5 30.552.358 25.565.465.13029全開設授業科目 全開設授業科目 55.6 65.958 30 5429 65.130 24 18 72 選択必修科目 選択必修科目 53.6 6.57.5 6.50 0 0 0 35 必修科目 必修科目 (P) (p) (a) (\mathbf{p}) (a)(a)(p) 専任担当科目数 (a) (a/(a+b)*100)(a/(a+b)*100)(a/(a+b)*100)専兼比率 (a/(a+b)*100) 兼任担当科目数 専任担当科目数 兼任担当科目数 兼任担当科目数 兼任担当科目数 専任担当科目数 専任担当科目数 専兼比率 専兼比率 専兼比率 専門教育 教養教育 専門教育 教養教育 グローバルスタ ディーズ学科 グローバルスタ ディーズ学科 平成21年度以降入学生カリキュラム 平成19・20年度入学生カリキュラム 学部·学科 学部·学科 グローバルスタディー ズ学部 グローバルスタディー ズ学部

の状況等)

表2-18

校舎等の面積 校地、 2039 人

在籍学生数

	備考(共用の						備考(共用の		
	設置基準上必要な 面積(㎡)			18,800.00			≿面積(㎡)	10.40	9,919.40
	在籍学生1人当た りの面積(㎡)			22.03			設置基準上必要な面積(㎡)	i c	9,0
	計(m²)	30798.0	10249.0	41047.0	3866.3	44913.3	≣+(m²)	20,930.2	
	共用する他の学校 等の専用(㎡)	•	-	-	•	-	共用する他の学校 等の専用(㎡)	•	
	共用(㎡)	-	-	-	-	-	共用(m³)	•	
	専用(m²)	30798.0	10249.0	41047.0	3866.3	44913.3	専用(m³)	20,930.2	
	区分	校舎敷地	運動場用地	小計	その他	√ □		∜ □	
,			艾	文				校	

の状況等)

用地の面積を除いた面積 寄宿舎その他大学の附属病院以外の附属施設(大学設置基準第39条及び短大設置基準第32条を参照) を記載すること(大学設置基準第36条第5項及び短大設置基準第28条第5項参照) 校地等面積については、 Θ

の在籍学生数を記載すること。 在籍学生数の欄には大学(学部及び大学院)

[専用合計+共用合計÷(大学在籍学生数+共用する他の学校の在籍学生数)×大学在籍学生数] ÷大学在籍学生数 校地等の在籍学生1人当たりの面積は、 で算出し、記載すること。 (N) (M)

、図書館(書庫、閲覧室、事務室)、管理関係施設 (・学生自習室・学生控室・学生集会所・書庫・食堂 実験・実習室等)、 、書庫)、医務室、 校舎面積に算入できる施設としては、研究室・教室(講義室、演習室、実験・実会議室、事務室(含記録庫)、応接室、受付、守衛室、使丁室、宿直室、書庫)所などが挙げられる。体育館やクラブハウスは含まない。 4

「共用」には大学が他の学校等と共用するものについて記載 校地等及び校舎の「専用」「共用」の欄には、「専用」には大学が専用で使用するもの、 し、「備考」欄に共用する学校等の名称及び在籍学生数を記載すること。 (C)

校地等及び校舎の「共用する他の学校等の専用」欄には、大学が校地等及び校舎を共用する他の学校等が専用で使用する校地等及び校舎の面積を記載 すること。 (1)

表2-19

教員研究室の概要

学部・研究科		室数		総面積(m²) (a)	1室当たりの	1室当たりの平均面積(㎡)	専任教員数 (教授・催教授・ 講師・助教)	教員 1 人当たりの 平均面積(㎡) (a/b)
	個室	并同	부	,	医室	井同	(p)	
経営情報学部	18	8	21	939.2	17.7	206.9	35	26.8
グローバルスタディーズ学部	24	4	88	496.8	18.2	15.0	23	21.6
経営情報学研究科	2	2	7	525.7	15.1	225.1	IO	105.1
総合研究所	1	1	1	23.2	23.2	•	-	
情報社会学研究所	2	1	2	58.6	29.3	•	3	19.5
統合リスクマネジメント研究所	1	1	1	29.3	29.3	•	2	14.6
知的リーダーシップ総合研究所	-	1	1	26.6		26.6	•	
111111111111111111111111111111111111111	51	10	61	2,099.3			89	

「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有するすべての教員研究室を記載すること。 Θ 「1室当たりの平均面積」はすべての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は、学部、大学院研究科等の専任教員が実際に 使用している教員研究室について記載すること。 (O)

専任教員数には助手を含めないこと。 附属の研究所等がある場合は、新たに欄を設け、記載すること。 退職などによる空き部屋についても記載し、「(a/b)」を算出する際には総面積からは除いて算出すること。

表2-20

学生自習室等の概要 演習室、 講義室、

備 考 (研究科・短大等との 共用等の状況)	海学標報学部	附属聖ヶ丘中学・高校と共用	経営情報学部・経営情報研究科と共用	経営情報研究科	経営情報研究科	経営情報学部・経営情報研究科と共用					多摩キャンパス	湘南キャンパス	経営情報研究科	経営情報学部・経営情報研究科・ グローバルスタディーズ学部と共用
在籍学生1人 当たり面積 (m²)	0.84	0.82	4.67	\setminus	\setminus	5.22	0.16	4.27	•	1.09	\setminus	\setminus	0.35	
学生総数 (人)	1,396	1,396	1,396		\setminus	1,396	263	263	ī	263	\setminus		120	
収容人員 (総数)	1,462	640	100	108	84	142	1,133	40	•	80			118	
専用・共用の別	車用	共用	共用	車用	車用	共用	車用	車用		車用	車用	車用	車用	共用
面積の合計 (㎡)	1,652.3	1,695.2	299.2	145.8	266.5	267.2	1,609.1	61.6	•	242.2	2,769.8	884.5	340.0	
室数	17	1	3	3	3	2	21	4	ī	2	1	1	4	1
講義室·演習室 学生自習室等		H K E		田 田	学生自習室	その他	講義室	演習 室	学生自習室	その他	*		講義室	講義室
学部・研 究科等		多麼	4+4	- > °	< K		新福	E++	- > °	< K	7 6 4	見ると	品川サテライト	九段サテライト

学部、大学院研究科ごとに記載すること。 Θ 当該施設を複数の学部、研究科または短期大学等が共用している場合には、上記のように当該学部・大学院研究科専用の施設とは別に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「学生総数」欄にも共用する学部、研究科または短期大学等の学生を含めた数値を記載すること。ただし、「在籍学生1人当たり面積」の算出には、昼夜開講制の場合の夜間主コースの学生数や固有の施設を持たない2部(夜間部)の学生数は含めないこと。 \odot

「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記載するこ キャンパスごとに施設を共用している場合は、

ئد

と記載するこ

「学部・研究科等」欄に「全学共通」 学部に準じて記載すること。 全学で全ての施設を共用している場合は、 教養教育のための専用施設がある場合は、

「在籍学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで求めること。

当該施設を利用しているすべての学部の学生数 他学部等と共用の講義室・演習室等の「在籍学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学 (研究科または短期大学等と共用している場合は、研究科または短期大学等の学生数を含む)で総面積を除して算出すること。

表2-21

実習室の面積・規模 学部の学生用実験

軍数	総面積(m³)	収容人員 (総数)	収容人員1人当たり の面籍(m³)	使用学部等	備兆
2	267.5	142	0.5	経営情報学部	[再揭]
2	242.2	08	0.3	グローベルスタ ディーズ学部	[再揭]
4	509.7	222	0.4		

原則として学部ごとにまとめること。

その施設の用途が具体的にわかるような名称を記載すること。 「用途別室名」欄には、

その学部名等のすべてを「使用学部等」欄に記載し、本表において 当該施設を複数学部もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その同一施設を重複して記載しないこと。ただし、専門学校は含まないこと。 $\Theta \otimes \Theta$

ここに記載すること。 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、 4 (0)

教養教育のための施設については「使用学部等」欄にその旨記載すること。

実習室としての機能を備えているものの、講義室、演習室、学生自習室等としての利用が中心である施設については、 表2-21「講義室、演習室、学生自習室等の概要」の講義室・演習室に含めてもよい。その場合、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記載すること。 9

表2-22

附属施設の概要(図書館除く)

該当なし

外 田 な 十	H.4713			
スタップ数 該当する場合のみ記載	非常勤			
スタン酸当する場	章			
開館時間等(おいよろ担へ	開館時間等 (該当する場合 のみ記載)			
収容人員(総数)	収容人員(総数) 該当箇所のみ記載			
専用・共用	の別			
面積の合計	(m³)			
及纸	, S. T.			

① 大学設置基準第39条に基づき、学部・学科の教育研究に必要な施設を記入すること。

表2-23

該当なし その他の施設の概要

垂光				
·フ数 合のみ記載	排常勤			
スタップ数 該当する場合のみ記載	常勤			
らのみ記載 (平成23年度)	学外			
利用者数(総数)該当する場合のみ記載	学内			
開館時間等 該当する場合 のみ記載		·· ~		
収容人員 (総数)				
111111111111111111111111111111111111111	(m)			
名称	: !			

セミナーハウス、運動場、スポーツ施設等を有しており、学部やキャンパス等ごとに分かれている場合は、学部やキャンパス等ごとに分けて 記載すること。ただし、体育館は除くこと。 Θ

スポーツ施設を有する場合は、種別ごとに記載すること。 利用者数について、同じ法人の短大等も利用している場合、学内の欄に短大等の利用者数も含め記入し、内訳を明示すること。

授業利用・課外授業(部活)を含んで記載すること。

その他の施設とは、大学設置基準第39条において定義されている附属施設以外をいう。 Ø Ø Φ Ø

表2-24

図書、資料の所蔵数

	図書の冊数	数(冊)	定期刊行物の種類	物の種類	ψ.	のコナーキバケ事	デーなべース	
図書館の名称	図書の冊数	開架図書の冊数 (内数)	内国書	外国書	所蔵数(点数)	もして、イングの種類	の契約数	無
多摩キャンパス	141,493	94,007	133	20	2,894	1	6	データベース契約数(9)は、 多摩キャンパスで集中管理
相南キャンパス	28,319	24,995	26	15	374	31	2	
111111111111111111111111111111111111111	169,812	119,002	159	65	3,268	32	11	

学部、キャンパスごとに図書館を有する場合は、すべて記載すること。 Θ

視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD -ROM等を含めること。

検索データベース等を契約している場合はデータベースの契約数欄にその契約数を記載すること。

電子ジャーナル、データベースが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記載し備考欄にその旨を記載すること。

視聴覚資料及び定期刊行物等については、タイトル数を記入すること。 雑誌等の定期刊行物について、製本済みのものは図書の冊数に加えること。

₩∅∅∅∅

学生閲覧室等 表2-25

フ数合のみ記載	非常勤	3	1	4
スタップ数 該当する場合のみ記載	章任	8	2	9
旧分田	州 至 坪 间	137 $9:00 \sim 19:00$	$8:50 \sim 18:00$	
(平成23年度)	学外	137	<i>L</i>	144
年間利用実績(平成23年度)	学内	39,010	13,684	52,694
日数	年間	247	207	
開室日数	週当たり	9	5	
その他の学習室の	その他の 学習室の 座席数 ()		$\frac{2}{(AV7^{\circ}-)}$	2
収容定員に 対する 座席数の 割合(%) a/b*100		14	11	13
学生 収容定員 (b)		1430	009	2030
是	S.		64	261
	書庫 スペース (内数)	54	32	88
面積(㎡)	閲覧 スペース (内数)	447	374	821
	全体	1,021	406	1,427
図書館の名称		多摩大学 メディア&インフォメーション・ センター図書館(多摩キャンパス)	多摩大学 メディア&インフォメーション・ センター図書館(湘南キャンパス)	☆ □

学部、キャンパスごとに図書館を有する場合は、すべて記載すること。

「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に 加えること。ただし、専門学校は含まないこと。なお、図書館における収容定員ではない。 Θ

「備考」欄には学生収容定員(b)の内訳を、学部学生、大学院学生、専攻科、別科、短期大学ごとに記載すること。 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記載すること。

週あたりの開室日数については学期中の週当たりの実際開室日数を記載すること。

開室時間については学期中の平日における開室時間を記載すること。

年間利用実績の「学内」欄には、学生・教員・職員の延べ利用人数を記載すること。「学外」欄には、それ以外の利用者の延べ利用人数を記載すること。

表2-26

情報センター等の状況

体却センター集の分 統	京 座 巻	4-	ソフトウェアの	年間総利用時間数	7 (平成23年度)	開館時間等	開館日数		スタップ数 該当する場合のみ記載	7数 のみ記載
	(主)用(本)	口教	種類の数	授業利用時間数	授業外利用時間数	19 PT 47 PT 19 PT	年間週	週当たり	車任	非常勤
241教室(多摩キャンパス)	70	21	4	383	762	$9:00\sim21:00$	190	- 2		
242教室(多摩キャンパス)	06	61	4	- 838		$9:00 \sim 16:30$				
第一情報処理教室(湘南	40	40	3	405	270	$9:00 \sim 18:00$	180	- 2		
第二情報処理教室(湘南	40	40	3	225	540	$9:00\sim 20:00$	180	- 2		

① 学部、キャンパスごとに有する場合は、すべて記載すること。

コンピュータ台数については学生が利用可能な状態にある情報教育用のコンピュータの台数について記載すること。サーバ用途のコンピュータや倉庫に保 管されているなどの遊休状態のものは含めない。 \odot

ソフトウエアの種類数については学生が利用可能な情報教育用のソフトウエアの種類の数。当該組織がライセンス購入した教育用の商用ソフトウェアに限定し、OS、フリーソフト、独自に開発したソフトウェアは除くこと。 (m)

開館時間が時期によって異なる場合には、通常の開館時間を記載し、その旨を欄外に記載する。 4

表2-27 学生寮等の状況 該当なし

,フ数	非常勤			
スタッフ	専任			
1人当たり	の面積(㎡)			
実際に入棄して	いる学生数			
入寮	定員数			
専有延べ床	面積(㎡)			
1棟当たりの室数	井			
1棟当た	個室			
個室・共同	個室・共同 の別			
14.7.3	711.4E			
公	1			

① 複数棟にわたって有する場合はすべて記載すること。